

官報

號外

明治三十二年三月二日

木曜日

印刷局

第十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第三十九號

明治三十二年三月一日(水曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第三十七號 明治三十二年三月一日

午後一時開議

- 第一 商法施行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 臺灣事業公債法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 北海道拓殖銀行法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第八 辯護士法中改正追加法律案(鳩山和夫君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 會計檢查院長官評定官懲戒法案(工藤行一君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 明治二十二年法律第十五號會計檢查院法中改正法律案(工藤行一君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 明治二十九年法律第九十一號中改正法律案(工藤行一君外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 良種牛補給ニ關スル建議案(奈須川光實君) (委員長報告)
- 第十三 國有林野調查會設置ニ關スル建議案(杉田定四君外) (委員長報告)
- 第十四 府縣農事試驗場國庫補助法案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十五 斗南藩士家祿給與法案(殿島相政君) 第一讀會
- 第十六 配當祿處分法案(松島廉作君) 第一讀會
- 第十七 私設鐵道條例中改正法律案(山口卯吉君外) 第一讀會
- 第十八 北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案(恒松隆盛君) 第一讀會
- 第十九 巴里萬國博覽會ニ技術者並ニ實業家派遣ノ建議案(雨森菊太郎君) (委員長報告)

- 第二十 小學校教育費國庫補助法案(衆議院提出) 第五回內國勸業博覽會中水產部ヲ萬國博覽會ト爲スノ建議案(恒松隆盛君) 第一讀會
- 第二十一 國學院補助ニ關スル建議案(早川龍介君) 第一讀會
- 第二十二 工藝學校設置ノ建議案(杉田定一君) 第一讀會
- 第二十三 決算審查ニ關スル決議案(安川繁成君) 第一讀會
- 第二十四 第五回內國勸業博覽會ヲ大阪ニ開設スルノ建議案(藤金作君外) (委員長報告)
- 第二十五 第五回內國勸業博覽會開設ヲ東京市ニ設置スルノ建議案(星亨君外) (委員長報告)
- 第二十六 明治三十年法律第十一號廢止法律案(內藤守三君外) 第一讀會
- 第二十七 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律案(井上角五郎君外) 第一讀會
- 第二十八 小學校修身書ニ關スル建議案(安藤龜太郎君) 第一讀會
- 第二十九 (特別報告第十九號)狩獵法改正ノ請願 (委員長報告)
- 第三十 (特別報告第二十號)工業銀行ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第三十一 (特別報告第二十一號)商法修正案中檢査役ニ關スル規定ヲ削除スルノ請願 (委員長報告)
- 第三十二 (特別報告第二十二號)北海道水產稅全廢ノ請願 (委員長報告)
- 第三十三 (特別報告第二十四號)官立齒科醫學學校設立ノ請願 (委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第二十五號)小學校教育費國庫補助ノ請願 (委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第二十六號)種牛改良ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第三十六 (特別報告第二十七號)不正肥料販賣取締法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第二十八號)金粉金箔製造者賣買取締法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第二十九號)清國債金ノ一部ヲ割テ教育費ニ充ツルノ請願 (委員長報告)
- 第三十九

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案

罹火救助基金法案

耕地整理法案

警察命令及行政執行法案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

過利金還附ノ建議案

提出者 利光 鶴松君

藤澤幾之輔君安部井磐根君鈴木重遠君中村彌六君ヨリ内閣權能ノ備ニ關スル質問書ヲ提出セラレタリ

特別委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

外國人ノ抵當權ニ關スル法律案外一件

委員長 山内吉郎兵衛君

航海獎勵法中改正法律案

委員長 山本 幸彦君

漁業法案

委員長 草刈 武八郎君

水先法案

委員長 野間 豐五郎君

委員長 (左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

内閣權能ノ備ニ付キ質問

第一

帝國ノ司法裁判官ヲ免職スル權能ハ刑法第三十三條ノ處刑宣告ヲナス裁判所及裁判官懲戒法ニ基キ懲戒裁判ヲ爲ス所ノ裁判所ニ專屬シ内閣所屬ノ權能ニ屬セサルコトハ憲法第五十八條第二項及同法第十條但書ニ據リテ明白ナリ然ルニ前松方内閣ハ臺灣總督府高等法院長臺灣總督府法院判官高野孟矩ニ對シ明治三十二年十月一日付内閣ノ名ヲ以テ非職辭令ヲ發表シ又同年十二月十八日付内閣ノ名ヲ以テ免本官辭令ヲ發表セリ而シテ此辭令ハ憲法第五十八條第二項ノ免職保障ヲ無視シ同法第十條但書權能所屬ノ規定ニ背戾シ即チ憲法上權能ヲ有セサル機關ニ依リテ發セラレタルモノトシテ本人ヨリ引續キ各内閣ヘ抗議書ヲ提出シタリト聞ク現内閣ハ此辭令モ尙ホ憲法上適正ノ效力アリト認メ此抗議ヲ排却セントスル意カ憲法上無窮ノ虞例ト相成ルヘキ重大ノ事項ニ付キ特ニ明確ナル答辯ヲ求

第二

司法權ハ 天皇ノ御名ニ於テ裁判所之ヲ行フモノニシテ裁判所ハ憲法上獨立ノ地位ヲ保障セラレサル可カラサルモノナルコトハ素ヨリ論ナキ處ナリ隨テ裁判所ノ實體タル裁判官ヲ免職スル權能ハ此獨立ノ要義ニ基キ憲法上ニ規定セラレアリテ嚴平侵犯スルヲ許サハル所ナリ若シモ憲法上ノ三大綱領タル此主要ノ規定ヲ侵犯シ内閣擅ニ裁判官ヲ免職シテ直チニ成效スルモノトセハ憲法ハ其綱領ニ於テ精神的破滅ニ歸シ憲法制定ノ御告文及憲法發布ノ詔勅ニ背馳シ結局國家ニ不測ノ大害ヲ釀スニ至ランコト之ヲ知ルニ難カラサル可シ然ルニ前項列舉シタル如ク憲法第五十八條

第二項ノ保障ヲ無視シ憲法第十條但書ノ規定ニ背戾シ憲法上清明確實ナル專屬機關ノ權能ヲ侵犯シ擅ニ他ノ機關ニ依リテ發セラレタル裁判官免職處分モ憲法上適正ニ效力ヲ生スト論定スルモノアラハ是レ正ニ憲法三大綱ノ一タル司法權ノ獨立ヲ事實ニ於テ認メサルモノ即チ憲法上至大緊切ノ部分ニ於テ其效用ヲ非認シ同時ニ憲法ヲ精神的ニ破壞セントスルモノナリ現内閣ハ此效用ヲ非認スルモ尙我帝國憲法ノ精神ヲ傷クルコトナク又保障ノ實在ニ於テ妨ケナシト認メラハカ憲法上重大ノ事項ニ付キ適實精緻ナル答辯ヲ求ム

右成規ニ依リ提出候也

明治三十二年三月一日

提出者 藤澤幾之輔

贊成者 鈴木 重遠

鈴木 文三郎

外三十名

安部井磐根

中村 彌六

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、藤澤幾之輔君

○藤澤幾之輔君(八十番) 今日吾々ハ、高野判官ノ罷免ニ關シマス内閣ノ權能ノ備ニ付キマシテ、一箇ノ質問書ヲ提出致シマシタ、其質問ノ箇條及理由ハ、其書面デ明確ニ分ルコトデアリマスカラ致シマシタ、コ、ニ辯明スルコトハ差控ヘマス(ヒヤノ)ト呼フ者アリ)唯注意ヲ請ウテ置キタイコトハ、普通ノ會期ハ、最早明日デ盡キルノアリマシテ、且ツ今週七日間ノ延會ノ仰出サレガアリマシタ、併シ是トモ實ニ短イ所ノ日數ニ過ギナイノデアリマス、是マデノ例ニ依リテ見マスルト、政府ガ質問ニ對シテ與ヘル所ノ答辯ハ、頗ル遅々致シテ居リマスノデアリマス、因テ斯ノ如キ切迫ノ時期デアリマスカラシテ、政府ハ速ニ答辯アラント希望致スノデアリマス、殊アリマス原君等ノ質問ニ對シテ、政府ハ憲法第五十八條ノ保障ニ附イテ、廟議ヲ盡サレタ上ノ答辯ト存ジマスカラ致シマシタ、今回ノ質問ニ對スル事柄等ノ如キハ、其トキニ於テ廟議ニナツタコト、存ジマス、即チ速ニ答辯シ得トヲ請求致シマス

(同感々々)ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第一、商法施行法案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告——木村格之輔君

第一

商法施行法案(政府提出貴族院送)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(木村格之輔君演壇ニ登ル)

○木村格之輔君(百七十八番) 本員ハ商法施行法案非訟事件ノ手續法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告ヲ致シマス、委員長ニハ本員ガ當選致シマシテ、内藤正義君ガ理事ニ當選致サレマシタ、段々審議ノ上ニ、此二案トモ同一ノ性質デアリマスカラ、同一ニ御報告スルガ、當然デアルト云フ考デアリマスカラ、同一ニ御報告ヲ致シ、商法修正案ハ、諸君ガ御承知ノ通、貴衆兩院ヲ通過致シマシタ、是ガ通過致シマシタ上ハ、舊——今日用ヒマシテ居リマス商法ト、貴衆兩院ヲ通過致シマシタ商法トデハ、抵觸スル事柄ガアリマスカラ、是非施行法ヲ定メナケレバ、活用スルコトガ出來ヌト云フコトハ、

誠ニ明ナ次第アリマス、非訟事件手續法モ同一デ、矢張商法ヲ修正致シマシタ結果トシテ、此改正ノ必要ガアリマスノデアリマス、故ニ是ノ一案トモ、最モ急務ヲ要スルモノト思慮致シマシタカラ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタデアリマス、本會ニ於キマシテモ、委員會決議通過決議アラシコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 唯今委員長カラ辯ゼラレマシタ通極急務ナコトデ、又少モ異議ノアル點ハアリマセヌカラ、讀會ヲ省略シテ確定ヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議アリマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案全部ヲ議題ニ供シマシテ、朗讀ヲ省略致シマス

商法施行法案

確定議

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ガアリマスマイカ 御異議ガナケレバ、確定致シタモノト認メマス 次ハ議事日程ノ第二、非訟事件手續法中改正法律案、第一讀會ノ續

第二 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君(九十七番) 是モ同一日程ニ倣ヒ讀會ヲ省略シ、直チニ決定セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議アリマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、讀會ヲ省略致シマシテ、全部ヲ議題ニ供シマス、朗讀ヲ省略致シマス

非訟事件手續法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス

○野間五造君(百九十八番) 唯今御宣告ガアリマシタガ、モウ一度伺ヒタイ

○議長(片岡健吉君) 今宣告ヲシマシタノハ、議事日程ノ第二ハ、委員長カラ都合ガアルカラ、今日ノ議事ヲ延ベテ吳レト云フ申出ガアリマシテ、今此コトヲ議場ニ諮ラタデアリマス

○野間五造君(百九十八番) 私ハチヨット申上ゲタウゴザイマス、此第三ノ臺灣事業公債法案ハ、政府ニ於テモ、一日モ早クヤリタイト云フコトデアラテ、自分モ委員デアラ、依ッテ、毎日……

○議長(片岡健吉君) マア御待ナサイ、是ハ今議場ニ諮ヒマレテ、異議ガナイト云フコトデ、延ベルコトニ決シマシタ

○野間五造君(百九十八番) 異議ガアラウト思ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) 豫算ガ決定シナイ中ニ、之ヲ決シタ所ガ仕方ガナイ、延ベルノガ當然ダ

○野間五造君(百九十八番) 異議ガアリマス

○議長(片岡健吉君) モウ宣告済デス

○野間五造君(百九十八番) 委員長ガ、都合ガ惡ルケレバ、理事ガ代テ報告ヲシテ宜シト思フ、自分ハ即チ理事デアリマスカラ、代テ報告ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) モウ宣告ガ済ミマシタ、次ハ議事日程ノ第四、葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス 政府委員仁尾惟茂君

第四 葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案

問接國稅犯則者處分法第一條乃至第十九條ノ規定ハ葉煙草專賣法違反事件ニ準用ス

問接國稅犯則者處分法中間稅官吏ニ屬スル職務ハ葉煙草專賣事務ニ從事スル官吏收稅官吏關稅官吏及警察官吏之ヲ行ヒ間稅署長間稅分署長ニ屬スル職務ハ違犯事件發覺地ヲ管轄スル葉煙草專賣所長之ヲ行フ

(政府委員專賣局長仁尾惟茂君演壇ニ登ル)

○政府委員(仁尾惟茂君) 煙草專賣法ニ關シマシテ密賣其他違犯ニ關シマスル狀況ハ、御承知ノ通デゴザリマス、是等ノ犯則者ハ、普通ノ刑事手續ニ依リ難キモノガアリマシテ、既ニ稅則違反ニ對シマシテハ、問接國稅犯則者處分法ト申シモ、ノガアリマシテ、大キニ便宜ヲ得テ居マス、即チ專賣法違反ニ對シマシテモ、此處分法ヲ準用致シタイモノト考ヘマシテ、爲ニ提出致シタデアリマス、速ニ御贊同アラシコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガナケレバ、議事日程ノ第五、特別委員ノ選舉

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(九十七番) 此案ノ委員ハ、先キニ葉煙草專賣法中改正法律案ニ矢張關係スル案デアリマシテ、最モ其葉煙草ニ關スルコトニ附イテハ、前ノ委員ガ緻密ニ能ク調べテ居リマスカラ、其委員ハ此案ヲ委託スルト云フコトニ致シタイ、即チ其人ノ名ヲ更ニ御命ジニナッタ方ガ、最モ御便利ト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 其委員ハ、モウ解ケテ居リマス

○恆松隆慶君(九十七番) 其人ハ、再ビ御申付ニナルコトヲ望ムノデス

○議長(片岡健吉君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス

○朝倉親爲君(百二十五番) 豫算分科會ヲ開キタウゴザイマスカラ

○議長(片岡健吉君) 朝倉親爲君カラ、豫算ノ分科會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議アリマスマイカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 然ラバ許可致シマス、次ハ議事日程ノ第六、北海道拓殖銀行法案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第六 北海道拓殖銀行法案(政府提出貴族院送付)

第一章 總則

北海道拓殖銀行法案

第一條 北海道拓殖銀行ハ北海道ノ拓殖事業ニ資本ヲ供給スルヲ以テ目的トス

第二條 北海道拓殖銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ北海道札幌ニ置ク

第三條 北海道拓殖銀行ノ資本金ハ參百萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ延長スルコトヲ得

第四條 北海道拓殖銀行ニ取締役四人以上監査役三人以上ヲ置ク

第五條 取締役ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三箇年トス

第六條 取締役ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

第三章 營業

第七條 北海道拓殖銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付

二 五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付

三 北海道ノ拓殖ヲ目的トスル株式會社ノ株券債券ヲ質トスル貸付及其

四 北海道ノ農產物ヲ擔保トスル貸付及荷爲替

五 預金及保險預金

前項第三號ノ事業ニ使用スヘキ金額ハ前項第一號及第二號ニ依リ貸付金

總高ノ五分ノ一ヲ超過スルコトヲ得

第八條 北海道區町村制ヲ施行セル區町村及其ノ他法律ヲ以テ組織セル北

海道ノ公共團體ニ對シ北海道拓殖銀行ハ無擔保ニテ年賦若ハ定期償還ノ

方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得

第九條 北海道拓殖銀行ハ營業上餘裕金アルトキハ國債證券地方債證券又

ハ社債券ヲ買入ルルコトヲ得

第十條 北海道拓殖銀行ハ此ノ法律ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得

第十一條 北海道拓殖銀行ハ第七條第一號及第二號ノ貸付ヲ爲シタル場合

ニ於テ債務者カ貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用シタルトキハ償還期限前

ト雖其ノ貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第四章 債券

第十二條 北海道拓殖銀行ハ拂込資本金額ノ五倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコ

トヲ得但シ第七條第一號ニ依リ貸付金總高ヲ超過スルコトヲ得

第十三條 北海道拓殖銀行ハ第七條第一號ニ依リ貸付金ノ償還高ニ應シ毎

年二回以上抽籤ヲ以テ其ノ債券ヲ償還スヘシ

第十四條 北海道拓殖銀行ハ第七條第一號ニ依リ貸付金ノ償還延滞シテ豫

期ノ金額ニ達セサルトキハ前條ト同時期ニ抽籤ヲ以テ延滞金額ニ相當ス

利ノ債券ヲ發行スルコトヲ得

低利ノ債券ヲ發行シタルトキハ發行後一箇月以内ニ抽籤ヲ以テ其ノ發行

券面金額ニ相當スル舊債券ヲ償還スヘシ

第十六條 北海道拓殖銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲

利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ及利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百

分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第十七條 政府ハ北海道拓殖銀行ノ業務ヲ監督ス

第十八條 北海道拓殖銀行ハ其ノ定款ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ

認可ヲ受クヘシ

第十九條 北海道拓殖銀行ハ株主ニ配當金ノ分配ヲ爲サントスルトキハ主

務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條 北海道拓殖銀行ハ第七條第一號ノ貸付金利子ニ付每營業年度ノ

初ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ經テ其ノ最高歩合ヲ定ムヘシ其ノ營業年度内

ニ於テ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第二十一條 主務大臣ハ北海道拓殖銀行ノ營業上法律命令又ハ定款ニ背戾

シ若ハ公益ヲ害スル事件アリト認ムルトキハ之ヲ制止スヘシ

第二十二條 北海道拓殖銀行ハ主務大臣ノ命令ニ從ヒ其ノ營業ニ關スル諸

般ノ景況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第二十三條 政府ハ北海道拓殖銀行監理官ヲ置キ主務大臣ノ指揮ヲ承ケテ

北海道拓殖銀行ノ業務ヲ監視セシム

第二十四條 北海道拓殖銀行監理官ハ何時ニテモ北海道拓殖銀行ノ金庫、

券庫、帳簿及諸般ノ文書ヲ検査スルコトヲ得

北海道拓殖銀行監理官ハ監視上必要ナリト認ムルトキハ何時ニテモ北海

道拓殖銀行ニ命シテ營業ニ關スル諸般ノ景況及計算報告書ヲ差出サシム

ルコトヲ得

北海道拓殖銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳

述スルコトヲ得

第二十五條 政府ハ百萬圓ヲ限度トシ北海道拓殖銀行ノ株式ヲ引受クヘ

シ

第二十六條 前條ニ依リ政府ノ引受ケタル株式ニ對シテハ北海道拓殖銀行

ハ其ノ創立初期ノ末日ヨリ十箇年間ハ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス

第七章 罰則

第二十七條 北海道拓殖銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ取締役ヲ百圓以上

千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第十條ノ規定ニ反シ此ノ法律ニ記載セサル業務ヲ營ミタルトキ

二 第十二條ノ規定ニ反シ債券ヲ發行シタルトキ但シ第十五條第一項ニ

依レルモノハ此ノ限ニアラス

三 第十三條第十四條及第十五條第二項ノ規定ニ反シ債券ノ償還ヲ爲サ

サルトキ

四 本法ニ於テ認可ヲ受クヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第二十八條 北海道拓殖銀行ノ取締役第六條ノ規定ヲ犯シタルトキハ貳拾

圓以上貳百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十九條 北海道拓殖銀行ノ發行スル債券ヲ偽造又ハ變造シテ行使シタ

ル者ハ刑法第二百四條ノ例ニ依リ處罰ス其ノ模造ニ關シテハ明治二十八

年法律第二十八號通貨及證券模造取締法ニ依リ處分ス

第三十條 主務大臣ハ北海道拓殖銀行設立委員ヲ置キ北海道拓殖銀行ノ

第三十一條 設立委員ハ定款ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募

第三十二條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ主務大

前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク各様式ニ付第一回ノ拂

第三十三條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ北海道拓殖

第三十四條 北海道拓殖銀行ニ關シ此ノ法律ニ規定セサル事項ハ明治二十三年法律第七十二號銀行條例ノ適用ス

議長(片岡健吉君) 御質問ガゴザイマセネバ、議事日程ノ第七、特別委員

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

性、陰、陽、氣、血、精、神、心、腎、肝、脾、肺、胃、大、小、便、胎、產、婦、兒、雜、症、

議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、此委員ハ九名ニシテ、議長指名ト云

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

議事日程ノ第八、辯護士法中改正追加法案、第一讀會ノ讀委員長報告

第八
辯護士法中改正追加法律案（鳩山
第一讀會，讀（委員長）

和光君外十七名提出
綾島相政君(二百二十九番)議長

議長(片岡健吉君) 鯉島相政君
[鯉島相政君、壇に登る]

辯護士法中改正追加法律案ノ委員會ノ結果ヲ

ルカラ、御報告モ幾ラカ長クナルカモ知レマセヌカラ、豫メ御斷申シテ置キ

タル通ニ、第四條ノ二號中ニ「司法省舊法學校正則部卒業生」ノ下ノ「及」ト

「及第者」ト云フノ十字ヲ加ヘルコトニ致シマシタノデアリマス、此文官高等

一名ノ多數ヲ以テ此通ニ追加スルコトニナツタノデアリマスルガ、之ニ反對

又判檢事辯護士試驗科目ト文官高等試驗ノ科目ト云

此試験科目ノ中デ擇一ニナツテ居ル、辯護士ニシテ刑事訴訟法民事

以テ、**第一科**目ハ、**重ニ經濟學ト理財學ノ方ニ重キヲ置イテアルモノデア**ルカラ

試験ヲ受ケントスル者モ、其重イ方ニ向ツテ研究ヲ致シ、試験ノ科目モ亦其重

法律専門バカリデ往ク所ノ辯護士ノ方ニ之ヲ加ヘルト云フノハ、甚ダ不穩當

アタノデアリマス、然ルニ是ニ對シマシテ、追加ニ贊成ノ諸君ノ御意見ハ、

張此雙方ニ依ッテ及第ヲシタ者ガ段々アル、又刑法民法商法ヲ調ベルモノ

試験ハ擇一ニナシテ居リマシテモ、試験ヲ受ケル者ハ、總テヲ十分ニ研究致シ

士試験ニ優ツテ居ルトモ、決シテ其低イ程度ノ試験デハナイノデアル、之ヲ

ラウト云フヤウナ御意見デアッタノデアリマス、政府委員ハ是ニ對シマシテ

云フヤウナ語氣ヲ以テ、政府委員ハ答ヘテ居ラレタノデアリマス、丁度二名ニ

對シマスル三名ノ多敷テ此通ニ修正ヲ加ヘルコトニナリマシタノ
デアリマス、ツレカラ第十二條ノ二トアリマスル中ニ辯護士ハノ下ニ裁

判所」ト云フ文字が、原告ニハアリマス、此原告ノ通ニ致シマスレバ、裁判所ニ云フ譯ニ修正ヲ致シタリマス、此原告ノ通ニ致シマスレバ、裁判所ニ

於テト、斯ウナテ居ルノデアリマシテ、此裁判所ト云フ意味ハ、餘程廣ク解釋ナレモ、デアレ、即チ受付モ——評護士ガ受付ニ對スルニモ、矢張此中ニ言

ル場合モアルノデアリマスルカラシテ、此原案ノ儘デハ、餘リ廣キニ失スル

タメニ提出サレマシタ所ノ原案デゴザイマスルカラ、明ニ茲ニ區域ヲ定メタ

ウ修正ヲ致シタノデアリマス、是ハ一名ニ對シマスル五名ノ多數ヲ以テ、斯

トモ、法廷ニ於テトアラウトモ、斯ル非常、最高ノ特權ヲ辯護士ニ與ヘルト云フ

デスラ、裁判所ノ許可ヲ受クレバ、臨時ノ辯護人トナルコトガ出來ルモノデア

ル然ルニ同シ同一ノ公姪ニカテ禁言シテハニ降ノシ
ノ保障ヲ與ヘテ、サウシテ通例ノ人民ニ之ヲ與ヘナイト云フノハ、甚ダ不都合

テアル第三三六辯護士ニ其ル特權ヲ與ヘルナシハ、ナヤ檢事ト判事ト判事ニ此特權ヲ與ヘナイカ、辯護士ハ無責任ナコトヲ云ウテモ宜シイ、判事ト檢事ト云フ

エトが出来来ノイト云フノハ甚タ不釣合ナ話ヲアル第四ニハ丹ッ知國ノ例ヲ調査致シテ見タ所デ、斯ル特權ヲ辯護スニ與ヘル所ノハ見レナイ、皆晝

任ト云フモノハ、負フト云フコトニナツテ居ルノデアル、ワレテ若シ期ウ云フ

辯護士がヤラカスカモ知レナイ、ツレデ詰リ此今日マデ判檢事ノ問ト辯護

ウケレドモ是ハ人ニ依ルコトデアル、人ニ在ルコトデアル、何カ據ル所ガア

士ニセヨ、其人ニ在^テアル譯デア^ルカラシテ、特ニ斯ル條項ヲ追加致シテ、辯

罵リ檢事ガ判事ヲ罵ルト云フヤウナコトガアツテ、ソレガタメニ刑事ノ訴訟
ヤ何カ起リタコトハナイノデアアル、ソレデ斯ウ云フコトハ、決シテ餘計ナ
御心配デアアル又不理窟デアアル、ドウシテモ是ハ人權ヲ發達シ、或ハ有罪ヲ有罪
トシ、無罪ヲ無罪トシテ裁判官ガ裁判ヲ維持シテ往カウト云フニハ、辯護人ニ
唯今本員ガ修正案ノ如キ位ノ保障ハ法律ガ與ヘテ置カナケレバ、ドウシテモ
十分ナコトハ出來ナイノデアアル、共ニ滿場ノ議員ニレテ、憲法上ノ保障ガナ
カマラ、隨分奇妙ナ禍ニ罹ル人ガ續々アルデアラウト思フ（「ナシ」）ト呼
フ者アリ）併ナガラソレガアルカラト云ツテ無茶ナコトハ言ヘナイ議場ニハ
議長ト云フ者モアリ、或ハ議員ニ對シテ懲戒法ガアル、ソレト同ジク辯護
士ニ對シテハ、辯護士懲戒法ト云フモノガアリ、ソレノミナラズ法廷ニ於テ
ハ、裁判長ハ主權者デアツテ、無限ナ權利ヲ以テ其法廷ヲ整理スルモノデア
リマスカラ、此特權ヲ與ヘタカラト言ツテ、政府委員ガ憂ヘルコトハ、千萬
ナイコトデアラウト本員ハ考ルノデアアル、ソレ故修正案ヲ提出致シマシタ

○利光鶴松君（百七十三番） 議長

○議長（片岡健吉君） 質問デスカ

○利光鶴松君（百七十三番） 演説ガアリマス

○議長（片岡健吉君） ソレナラ通告ガアリマス、平岡萬次郎君

○利光鶴松君（百七十三番） 私ノハ原案ニ附イテ反對ノ意見デス

○議長（片岡健吉君） 原案ニ附イテ反對ナラ先ニ致シマス——利光鶴松君

（利光鶴松君演壇ニ登ル）

○利光鶴松君（百七十三番） 私ハ極簡短ニ反對ノ理由ヲ述ベマス、實ハ此案
ハ日本辯護士協會ニ於テ立案シマシテ、茲ニ現レタノデアリマスガ、私モ此
本辯護士協會ノ評議員ノ一人デアリマス、殊ニ本院ニ此案ヲ提出セラレマシ
タ諸君ハ、皆本院ニ於キマシテ私ノ先輩ノ法律家デゴザイマスカラ、之ニ反
對スルト云フコトハ、誠ニ心苦シイノデアリマス、併ナガラ國家ノタメニ已
ヲ得ナイカラ、反對ヲ致スノデアリマスガ、私ノ詰リ法廷ノ辯論ニ憲法第五十
二條ニ於テ議院ニ與ヘタ如キ、自由ヲ與ヘテ置カナケレバ、十分ニ刑事ノ法
廷ニ立ツテ辯護スルコトガ出來ナイカドウカ、又民事ノ訴訟ニ於テ其素志
ヲ達スルコトニ多少ノ不自由ガアルカドウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、即チサ
ウ云フ自由ヲ與ヘル必要ガ、實際ニ於テアルカナイカ、サウ云フ願末ヲ諸君
ニ御披露致シテ置キマシタラ、結論ハ私ガ申サズトモ、諸君ガ御判斷ニナラ
ウト思ヒマス、私ハ十有餘年法廷ニ立ツテ此商賣ニ從事致シテ居リマスガ、
現在ノ儘ニ置キマシテ、未ダ會テ言論ノ不自由ヲ感ジタコトハナイノデアリ
マス、諸君モ御承知ノ通言論ニ依ツテ犯シ得ベキ罪ハ、ドウ云フ罪デアルト
云フト、是ハ三ツアル、第一ガ不敬罪、第二ガ官吏侮辱罪、第三ガ一般人民
ニ對スル誹毀ト云フノデアリマス、其後ハ腕力ナリ其他ノコトデヤラナケレ
バナリマセヌ、言論ニ依ツテ犯シ得ベキ罪ハ、三ツデアリマス、然ルニ不敬罪ノコ
トハ取除ケテアリマスカラ申シテ、官吏侮辱ノコトデナケレバ、十分
ニ辯護ガ出來ナイトカ、或ハ民事ノ訴訟ニ十分意思ヲ徹底スルコトガ出來
トカ云フコトハナイ、早イ話ガ人ガ姦通シタ十分意思ヲ徹底スルコトガ出來
ハ立派ナ誹毀デアリマス、誹毀ト云フコトハ極リ云フコト居リマスガ、併シ私
ガ今離婚ノ訴ヲヤリマス、其時ニ離婚ノ理由トシテハ、姦通ヲシテ居ルトカ、
或ハ斯ウ云フ不埒ノコトガアルカヲトカ申シテ、姦通ヲシタト云フコトヲ言ッ
テ證明ヲシマシタモ、此申立、此證明、此辯論ハ、決シテ誹毀罪トシテ罰ス

ルコトハナイノデアリマス、一體ナレバ誹毀トナルコトデス、法律モ又之ヲ
罰シナケレバナラヌノデスガ、實際辯護士ガ其職務ニ附イテ適切ナル言論デ
アル以上ハ、普通ハ官吏侮辱トナリ、普通ハ誹毀トナルコトデモ、辯護士ノ
職務ヲ行フニ適切ナルコトデアルトスレバ、辯論ヲシテモ、證明ヲシテモ、
此事柄ニ向ツテ侮辱罪ト云フモノハ、訴追スルコトハナイ、又誹毀ノ訴追ヲ
スルコトハナイ、偶々餘計ノコトヲ言ヒマスルト、ヒョットスト相手ガ意
地ノ惡ルイデアルト、官吏侮辱トナルト云フヤウナコトデ、中ニハ食ッ
人モアルカ知レマセヌガ、ソレハ極稀ナコトデアリマス、今日ノ裁判官ハ昔
ノ御奉行様ノヤウデナク、今日ハ却テ御奉行様ノ方ガ開ケテ來タト云フ譯デ
アリマスカラ、少々口ガヒツタ位ノコトデハ、先方ヨウイテ笑ッテ居ル位ノ
モノデアリマス、偶々言葉ヲ答メテ訴デモスル人ガアレバ、ソレハ時世ニ合
ハナイ變物ト云ハナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソレノ裁判官ハ、追々
社會ノ制裁ヲ以テ淘汰ヲシテ往ツタナラバ、宜カラウト思ヒマス、免ニ角辯
護士ノ辯論ニ附イテ自由ヲ與フルト云フコトハ、事實ニ於テ行レテ居リ、又
行レテ居ラナイトシテモ、法律ノ改正ヲシテ格段ナル權利ヲ辯護士ニ與フル
ニハ及バヌ、社會ノ制裁ヲ以テ——漸次裁判所ニ制裁ヲ附ケルヤウニスルガ
宜シイ、私ガ辯護士デアリナガラ、辯護士ニ都合ノ好イコトニ反對シ、サウ
シテ同僚ニ歡バレナイコトヲ冒シテ言フノハ、今日ノ法曹社會ノ有様ニ附
テハ、マダノ如ク、斯ノ如キ一方ニ特權ヲ與ヘテアレバ、是ヨリ起ルベキ弊
害ハ、マス、私ハ免ニ角此案ハ通過サセヌ方ガ宜シイト思ヒマス

（平岡萬次郎君演壇ニ登ル）

○平岡萬次郎君（二百九十五番） 辯護士ガ法廷ニ出デ、辯論スルノハ、獨リ
自己ノタメノミデハ、四千萬人民ノ孰ニカ代ッテ法廷ニ出デ、辯論スル
者デアアル、ソレ故ニ辯護士ノ自由ト云フモノハ、四千万人民ノ自由ニ關係ス
ルト云フコトハ、諸君ガ御承知ナケレバナラヌコトデアアル、此改正案ヲ出シ
タノハ、決シテ辯護士ノタメニ出シタノデハナクシテ、四千万人民ノタメニ
出シタ譯デゴザイマス（「ノウ」）「ヒヤ」ト呼フ者アリ）我國ニ於テハ諸
君モ御承知ノ通官尊民卑ト云フモノ、弊ノアルト云フコトハ、言ハズトモ
諸君ノ御承知ノコト、思フ、官尊民卑ノ弊ノ最モ集中シテ居ル處ハ、何處カ
ト云ヘバ、法廷デアアルノデゴザイマス、法廷ニ往ケバ人民ハ人間デアルカ何
ダカ分ラヌト云フヤウナ有様ハ、我國ノ古ク遡ラナクテモ、僅カ二三十年前
ニ遡ッテ見マシタラ、諸君ノ十分御考ノ出來ルコト、思ヒマス、此中ニハ隨
分人民ノ人間ト見ラレナイヤウナ有様ヲ目撃セラレタ人モアラウト思フ、明
治初年ノ頃ハ實ニ其通デアッタ、此官尊民卑ノ弊ト云フモノハ、數百年來
因襲シテ習性トナツテ來テ居ルカラ、餘程不都合ノコトヲヒラレテモ、其弊
ニ慣レテ人ガ怪マズニ居ル、併シ自由ノ人民カラ見レバ、實ニ苦シイコト
デアアルノデゴザイマス、私ハ敢テ今日斯ル有様デアルトハ申シマセヌ、段々
世ノ中ノ進歩ニ連レテ、法廷ノ改良モ出來テ、餘程自由ニハ出來マシケレド
モ、尙ハ其弊ト云フモノハ、隱微ノ間ニ傳ッテ居ルノデアリマス、ソレデ吾
吾ハ人民ノ自由權利ヲ保護シ伸張スル所ノ公廷ニ於テハ、成ルベク自由ニサ
セナケレバナラヌ、又自由ナル言論ヲ以テ事實ヲ辯論シナケレバ、其情義ト
云フモノヲ盡スコトハ出來ナイ、其情義ヲ盡スコトガ出來ナケレバ、辯護士
公平ト云フコトモ求メラレナイ、裁判ノ公平ヲ得ヤウトスルナレバ、辯護士

ノ忌憚ナキ辯論ト云フモノニ依ラナケレバナラヌノデアリマス、ソレ故ニ今日ニ比較シテ、モソツト自由ナル所ノ言論ヲ爲シ得ラレルヤウニシタイト云フノガ、私ノ希望デアリマス、又此案ヲ提出スルノ理由デアルノデゴザイマラス、サリナガラ幾ラ忌憚ナキ辯論ヲシタイ、自由ヲ得ナケレバナラヌ、人民ノ情義ヲ盡サセナケレバナラヌトハ申シナガラ、ソレガタメニ法廷ノ尊嚴ヲ瀆ストカ、或ハ法廷内ノ秩序ヲ紊ストカ云フガ如キコトガアツタナラバ、是ハ大變ノコトデアリマスカラ、是非トモ其取締ダケハ致サナケレバナラヌノデアリマス、其取締ハ今日ノ如キ辯護士ト云フモノハ、若シ法廷ニ於テ官吏ゴザイマス、侮辱ヲヤレバ、官吏侮辱ト云フモノト、ソレカラ懲戒訴追ト云フモノガアツテ、甚シキハ除名セラレ、辯護士ノ職ヲ褫奪セラレルト云フヤウナ、左様ニ重イコトヲシナケレバ、法廷ノ取締ハ出來ナイカト云ヘバ、ソレマデニ重イコトヲシナイデモ、十分取締ハ出來得ラレルト思フノデアリマス、辯護士ガ其職務ヲ褫奪セラレ、辯護士ノ職ヲ除名セラレルト云フコトニナルト、財產家ガ其財産ヲ擧ゲテ沒收セラレルト同様ナコトデアリマスカラ、隨分ハ重イ罪ト侮ハナケレバ、沒收セラレ、今日ノ所辯護士ニ二ツ彈ヲ食ハス必要ハナイ、官吏侮辱其上懲戒訴追、此二ツノモノヲ科セナイデモ、目的ハ達シ得ラレル、又法廷ノ尊嚴モ保チ得ラレル、秩序モ保チ得ラレルト信ズルノデアリマス、此裁判官ガ裁判ヲスルトキニハ——調ベルトキニハ裁判長ガ總テ指揮スルノデアリマス、一言一句ソレハドウモ辯論ノ必要ハナイトカ、其辯論ハ不必要デアルト云フガ如キ言葉ヲ以テ、一々人ノ辯論ヲ制限シテ往キマスカラ、決シテ亂ニ流レルコトハナイ、特ニ裁判所構成法ノ第一百十一條ニハ「裁判長ハ不當ノ言語ヲ用井ル辯護士ニ對シ同事件ニ付引續キ陳述スルノ權ヲ行フコトヲ禁スルコトヲ得其禁止ハ此ノ行狀ニ付懲戒上ノ訴追ヲナスコトヲ妨ケス」トアル、而シテ其訴追ト云フモノハ、除名マデ來ル、此刑ヲ科スルナラバ、十分ニ其刑ノ目的ハ達シ得ラル、ノデ、此上ニ刑ヲ科スルト云フコトハ——或ハ官吏侮辱罪或ハ誹毀罪罵詈訾罪ニ問フト云フコトハ、徒ラニ刑ヲ峻酷ニスルノミデ、必要ノナイノニ人ヲ苦シムルノデアル、刑ノ目的ハ人ヲ懲戒スレバナリルノデ、其上ノコトハ徒ラニナル、凡ソ罪ヲ定メルニハ、刑ノ分量如何ト云フコトニ注意シナケレバナラヌ、辯護士ニ向ッテハ懲戒訴追ハ重キ除名マデ往キマス、譴責、一百圓以下ノ過料、一年以下ノ停職除名、斯ノ如キコトガアリマスカラ、是デ以テ辯護士ガ法廷ニ於テ不當ノ言語ヲ爲スコトハ、十分取締得ラル、法廷ノ尊嚴モ十分ニ保チ得ラル、秩序モ十分ニ保チ得ラル、カテラハ、其上ノ官吏侮辱罪誹毀罪罵詈訾罪ト云フヤウナ刑ニ問フト云フ必要ハナイ、必要ガナイノニ徒ラニ刑ヲ峻酷ニスルト云フノハ、野蠻ノ法律ト云ハナケレバナラヌ、ソレデ斯ノ如キ重キ刑ヲ科スルコトヲ止メタイト云フノガ、本案ノ趣意デアルノデ、此刑ヲ唯懲戒訴追除名ト云フコトニシテ、ソレデ懲戒ノ目的ヲ達シ得ラル、ナラバ、更ニ前述ヘマシタ重キ刑ヲ科スル必要ハ何處ニアルカ、少モ其必要ヲ本員ハ見ナイ、即チ斯ノ如ク改正スル所以デゴザイマスカ、前ニ鯁島君カラ辯護士次サウ云フコトデアッテ、普通人ニ與ヘナケレバ、權衡ガ取レヌザヤナイカト云フコトガアリマシタガ、是ハ大イニ間違ノ議論アル、吾々ハ普通人ニモ今述ベタヤウナ自由ヲ與ヘタイカラ、ソレハ法ノ惡ノルイ所ハ直シテ往ケバ宜イノデ、議會モ開ケテ居ルカラ、御同感ナラバ明日ニデモ提出シテ、共ニ議會ヲ通過スルヤウニ致サウザヤゴザイマセヌカ、決シテ一方ニ惡ルイコトガアルカラ、其惡ルイノニ倣ハナケレバナラヌト云フ必要

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、齋藤卯八君ハ取引所法中改正案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ニナツテ、緊急動議デ之ヲ議シタイト云フ申出ガアリマスガ、此際ニ發議ヲナサイマス

○齋藤卯八君(百八十三番) ハイ

(齋藤卯八君演壇ニ登ル)

○齋藤卯八君(百八十三番) 取引所法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告申シマス、此取引所法中改正法律案ハ、政府提出貴族院送付ノモノデアツテ、又此案ハ極テ簡短ナルモノデゴザイマス、現行取引所法第十一條ハ、外國人ガ取引所ノ株主タルコトヲ禁ジテアツマス、新條約實施ノ後ハ、取引所ニ附イテハ特ニ此禁止スルノ必要ヲ認メズ、因ツテ之ヲ改正スト云フ案デゴザイマス、即チ現行法第十一條「帝國臣民ニアラサレハ取引所會員株主又ハ仲買人トナルコトヲ得ス」ト云フ一條中カラ「株主」ノ二字ヲ削除スルコト云フ案デアツテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ此二字ヲ削除スルコトニ、即チ政府案ヲ賛成スルコトニナリマシテゴザイマス、此案ハ緊急動議トシテ、直チニ決議アラント願ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) ドウカ直チニ二讀會ヲ開カレテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 賛成ガアリマスカラ、採決致シマス、議事日程ヲ變更シテ取引所法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キタイト云フ緊急動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス

○石黒瀧一郎君(百四十一番) 此際議事日程ノ變更ヲ求メタイ、其問題ハ岡山縣郡分合法案、是ハ既ニ先月ノ十日委員會ノ審查ニ付セラレタノデゴザイマスガ、日ヲ閱ミスルコト殆ド二十日ノ今日ニ至ルマデ、未ダ報告ヲ受取ルコトガ出來ナイノデアリマス、會期モ將ニ盡キントスル本日ニ於キマシテ、其報告ヲ受取ラヌト云フコトニナリマシタトキニハ、全國ノ各縣ノ中ニ獨リ岡山縣ノミ府縣制ヲ施クコトガ出來ナイト云フ結果ニナリマシテ、制度劃一ノ上ニ於テ、甚ダ遺憾トスルノデゴザイマスカラ、此際議事日程ヲ變更シテ、委員會ノ報告ニ期限ヲ附シタイ、之ヲ本院ノ議決トシテ報告ヲ求メタイト心得マスカラ、此動議ヲ提出致シマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○三田村甚三郎君(五十三番) 反對デス、議長カラ御注意ヲナサレバ宜シイ、ツシナコトヲ決議シナクテモ宜イ

○議長(片岡健吉君) 注意シテモ日限ヲ定ムルコトハ出來マセヌ——今石黒瀧一郎君カラ、岡山縣下郡廢置法律案ノ委員會ガ未ダ報告ガナイ、之ニ日限ヲ附シテ報告セシムルコト云フ決議ヲシタイト云フ緊急動議デゴザイマスガ、議事日程ヲ變更シテ之ヲ議スルコトニ御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、議事日程ヲ變更シテ之ヲ議スルコトニ致シマス、百四十一番、登壇シテ其趣意ヲ御述ナサイ

(石黒瀧一郎君演壇ニ登ル)

○石黒瀧一郎君(百四十一番) 諸君、唯今本員ヨリ提出致シマシタ動議ノ趣旨ハ、略々先刻述べマシタ通、此際本議會ニ於テ速ニ郡分合法案ノ決議ヲ得タイト云フ考ヲ持ツテ居リマスカラシテ、希ハクハ此審查會ノ報告ハ、三月三日當議會ニ委員會ノ結果ヲ直チニ御報告ニナルヤウニ致シタイト云フ考デゴザイマス、是ハ誠ニ簡單ナコトデゴザイマスケレドモ、矢張議會ノ決議ヲ經ナケレバ、此期限ヲ附セル途ガナイノデアリマスカラ、希クハ滿場諸君ノ御賛成ヲ以テ、此期限ヲ附セルアル、コトヲ希ヒマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 今石黒瀧一郎君カラ申述べタ通、此岡山縣下郡廢置法案ノ委員會ハ三月三日マデニ其審查ヲ結了シテ、報告ガアリタイト云フ決議案デアリマスガ、御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通可決致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 私モ此處デ日程變更デスガ、是ハ諸君ニモ分ッテ居リマスル所ノ耕地整理法案デアリマス、個人ニ於キマシテモ、公共團體ニ於キマシテモ、最モ必要ナモノデアリマス、ドウカ是ハ議事日程ヲ變更シテ、一讀會ヲ開イテ委員ヲ選ミタイト云フノデアリマス、ドウカ御賛成下サイ

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、耕地整理法案ヲ議事日程ヲ變更シテ、此際第一讀會ヲ開キタイト云フコトデアリマス

(賛成「反對」ノ聲交、起ル)

○議長(片岡健吉君) 賛成ガアリマスカラ、採決ヲ致シマス、恆松隆慶君ノ緊急動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請マス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、議事日程ノ第九、會計検査院長官評定官懲戒法案第一讀會ノ續委員會長ノ報告

第九 會計検査院長官評定官懲戒法案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 宜ウ聴取レマセヌ

○關直彦君(五十五番) 一言發言ヲ求メマス、刑事訴訟法ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデゴザイマスガ、御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○鈴木重遠君(二百五十九番) 今日ノ議事日程ノ第九第十第十一ノ三ツハ、會計検査院ニ係ル法案デゴザイマス、デ、其審查ヲ同一ノ委員ニ付セラレマシタカラ、此三ツヲ順次連ネテ、委員會ノ經過ト結果トヲ御報告致シマス、其報告ノ前ニ一應申上ゲテ置キマスルガ、諸君ノ御手許ヘ御配付シテゴザリ

マスル此會計検査院ノ懲戒法ノ修正案デゴザイマス、アノ中ニ誤リガゴザリマス、デ、正誤ヲ致サヌナリマセヌカラ、ソレダケ申上デマス、修正案ノ第六條デゴザイマス……

(議場騒然)

○議長(片岡健吉君) ドウカ靜肅ニシナイト、委員長ノ報告ガ聽エマセヌ——靜肅ニ願ヒマス

○鈴木重遠君(二百五十九番) 第六條「懲戒裁判所ノ裁判ニ對シテハ再審ヲ求ムルコトヲ得ス」ト、斯ウ第六條ニゴザイマス、アレハ全ク誤植デゴザイマシテ、斯ウ直ルノデゴザイマス「懲戒裁判所ノ裁判ハ第一審ヲ以テ終審トナス」第六條ガ「懲戒裁判所ノ裁判ハ第一審ヲ以テ終審トナス」斯ウ直リマス、モウ一ツハ、修正案ノ第三十五條デゴザイマス、第三十五條ガ四項ニ分レテ居リマスガ、其三項目ノ「賄賂其他ノ方法ヲ以テ」ト云フノハ、全クアレハ第二項ノ尾ニ續キマスノデゴザイマス、第二項ノシマヒノ方ノ「五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス賄賂其他ノ方法ヲ」ト斯ウ續キマスノデゴザイマス、デ、別項ニナツテ居リマス、アレハ誤デゴザイマス、サウドウゾ御承知ヲ願ヒマス、此會計検査院ノ懲戒法ト申シマス、モ、諸君モ御承知ノ通、去ル明治二十二年ノ五月ニ現行ノ會計検査院法ガ發布ニナリマシタルトキニ、其第六條ニ「検査官ノ懲戒條規ハ別ニ定ムル所ニ依ル」斯ウ出テ居リマス、今ニ検査官ノ懲戒法ト云フモノハ、出テ居ラヌノデゴザイマス、元來委員會ハ數回開キマシテ、委員モ審議討論ヲ盡シマス、政府委員ノ意見ヲ尋ネマシタガ、政府委員モ此検査院ノ懲戒法ト云フモノハ、先年以來調査ヲシテ居、是非出サシナラヌト云フ考デアルデ、此冬ノ第十四回議會ニハ、多分出ルヤウニナラウト云フ考モアルノデゴザイマス、然ルニ委員會ニナツテ居リマス、故ニ此先年社會ノ大問題トナリマシタ検査院長ノ渡邊氏ノ不法行為ト云フコトモ、遂ニ懲戒法ガナイタメニ、荏苒經過ヲ致シタト云フ譯デゴザイマス、デ、是非懲戒法ト云フモノガ、一日モ早ク發布ニナラネバナルマイト云フ委員ノ多數ノ意見デ、提出者カラ出マシタ懲戒法ニ附イテ、段々審議ヲ致シマシテゴザイマス、何分不完全ナ廉モゴザイマス、更ニ委員ガ力ヲ盡シマシテ、此三十餘條カラ成立チマシタル修正案ト云フモノガ、出來マシタノデゴザイマス、其修正案ガ即チ刷物ニナツテ、諸君ノ御手許ヘ配付ニナツテ居リマス、ドウカ修正案ヲ本會ニ於テ可決ニナリマシテ、關典ニナツテ居リマス法律ヲ補ヒタイト云フ委員會ノ意見デゴザイマス、此修正案ハ三十餘條餘リデゴザイマス、デ、一々委員長カラハ、御報告ヲ致シマセヌガ、尙ホ諸君ノ中此條項ニ附イテ、御質問ガゴザイマスレバ、此修正案ニ力ヲ盡シテ、編纂致シマシタル委員ノ中カラ、御答ヲ致シマスルコトニ致シマス、ソレカラ次ノ日程第十ノ會計検査院法中ノ改正デゴザイマス、是ハ委員會ニ於キマシテモ、段々審議ヲ致シマシタガ、此改正案ト申シマス、第三條ト第十一條ノ四項トガ、最モ其骨子ト認メマシタノデゴザイマス、第三條ハ評定官、即チ検査官ノ半數ハ帝國議會ノ議員ヲ以テ之ニ充ツト云フノデゴザイマスガ、是モ原案、即チ

修正案ヲ出シマシタニ附キマシテハ、検査院ノ少數ノ終身官ガ、相集ッテ院長ニ阿諛シテ段々弊害ガ、生ジタ事柄杯モゴザイマス、又帝國議會ノ議員ト云フモノハ、國庫ノ監督ヲ致シマスカラ、豫算ノ始ヨリ決算ノ終リマデ、検査官ヲ兼務シテ十分ニ監察ヲ下スガ宜カラウ、又白耳義ニモ其例モアルカラト云フノデ、此三條ハ出來來々々趣意デゴザイマスガ、委員會ニ於キマシデハ、元來検査院ハ終身官ヲ以テ組織シテゴザイマシテ、天皇ノ大權ニ屬シタル獨立ノ院デゴザイマス、然ルニ立法部ノ議員ガ、半數モ検査官ヲ兼ネルト致シマスルコトハ、ドウモ其會計検査院ノ組織ノ趣意ニ違フノデ、終ニ此第三條ハ、否決ヲ致シタノデゴザイマス、第十一條ノ四項ハ、會計検査院長ハ帝國議會ノ一院ヨリ不信任ヲ決議セラレタルトキハ、直ニ退官ヲ命ゼラレト云フノデゴザイマス、是モ亦幾ラカ、検査院ノ弊ヲ矯ムルガタメニ、此修正案ガ出マシタノデハゴザイマセウガ、委員會ノ多數ニ於キマシテハ、法律ヲ以テ院長ヲ帝國議會ノ一院デ、不信任ヲ決議シタトキハ、退官ヲ命ゼラレト申シマスルコトハ、文武官ヲ任命スル大權ヲ侵スニ當ルノ嫌ヒモ

(一)

ゴザイマス、デ、何分此條項ノ改正ハ、削ラニナラヌト申スノデ、否決ヲ致シタノデゴザイマス、此改正案ハ第三條ト第十一條ノ四項トガ、骨子デゴザイマス、デ、之ヲ否決致シマシタメニ、其他ノ各條項ノ修正ハ、悉ク是ニ附帶シタモノデゴザイマス、デ、大抵是ハ全部ノ修正ヲ委員會デハ否決ヲ致シマシタノデゴザイマス、其次ハ第十一條デゴザイマス、明治二十九年法律第九十一號中改正法律案、是ハ其第一條ノ検査官ガ身體若ク精神ノ衰弱ニ依リ職務ヲ執ルコト能ハズ九十日ヲ越エ治癒ノ徵候ヲ見ルニ至ラザルトキハ是ニ退官ヲ命ズルト云フ修正ナノデゴザイマス、然ルニ此普通ノ文官ニ於キマシテモ、病氣ノタメ職務ヲ執ルコト九十日ヲ超エマシタ後云々ト申シマスルコトハ、俸給令ニ明文モゴザイマス、デ、此會計検査官トモ此文字ノ範圍ノ中ニアルコトデゴザイマス、ソレカラ改正條項ニ治癒ノ徵候ヲ見ザルニ至リタルトキハ云々ト云フコトモ、何レハ是ハ醫者ガ見ナケレバナラヌコトデゴザイマスガ、其醫師ノ診斷上緩急モゴザイマスルカラ、是ハ斯ク法律ニ明文トシテ出シマスルノハ、甚ダ不適當デアラウト云フコトガ、委員會多數ノ意見デ、此修正モ否決ヲ致シマシタノデゴザイマス、詰リ此二案ニ附キマシテハ、懲戒法ハ修正案ヲ以テ可決致シマシタ、後トノ二案ハ否決致シマシタノデゴザイマス、デ、其後トノ二案ガ、否決致シマシタニ附キマシテハ、此會計検査院長評定官懲戒法案トゴザイマス、ソレ此修正案ハ會計検査院長部長検査官懲戒法ト修正シタノデゴザイマス、是モドウゾ御承知ヲ願ヒマス、委員長ノ報告ハ是ニ止メテ置キマス、デ、ドウゾ此可決シタモノハ、滿場諸君ノ御賛成ヲ下サレマシテ、ドウカ此議會デ成立チマスルコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、次ハ議事日程ノ第十明治二十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案第一讀會ノ續委員長報告

第十 明治三十二年法律第十五號會計檢査院法中改正法律案(工藤行幹君 第一讀會ノ續(委員長 外一名提出))

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
○議長(片岡健吉君) 是ハ委員會ノ方デハ、今委員長ノ報告セラレタル通、否決スベキモノト決シテ居リマス、本案ニ附キマシテ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、次ハ議事日程第十一 明治三十二年法律第九十一號中改正法律案、第一讀會ノ續

第十一 明治三十二年法律第九十一號中改正法律案(工藤行幹君外一名 第一讀會ノ續(委員長 提出))

○議長(片岡健吉君) 本案モ前案ト同様デアリマスルカラ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本案ニ附イテ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス、議事日程第十二、良種牛補給ニ關スル建議案、委員長ノ報告
奈須川光寶君

第十二 良種牛補給ニ關スル建議案(奈須川光 委員長報告)

(奈須川光寶君演壇ニ登ル)

○奈須川光寶君(二百五十五番) 良種牛補給ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ二月二十四日ニ委員長理事ノ選舉ヲ致シマシテ、二十五日ニ委員會ヲ開キマシテ審議ノ末、此報告書ノ如クニ委員會デ修正ヲ致シタノデアリマス、此コトニ附イテ委員會デ修正シタル理由ヲ聊カ述ベヤウト存ジマス、建議案ニ於テハ、良種牛補給ニ關スル建議案トアリマシタモノヲ、良種牛設置所ニ關スル建議案ト改メマシタノデゴザイマス、尤モ牝牛ノコトニ對シマシテハ、未ダ世間ノ注意ヲ惹イタコトモゴザイマセヌデ、今日マデニ一向ニ是等ノ方法ヲ講ジタモノモナカッタノデゴザイマスルガ、然ルニ此理由書ニモ述ベテ置キマシタ如クニ、海外等ノ交通ガ頻繁ニナルニ隨テ、追々ト牛肉ノ需要ガ増シテ、今日ニ在リテハ、日本ノ牛ガ生産スル所ノ割合ヨリハ、現ニ屠殺スル所ノ數ハ多クナッテ居ルノデアリマス、ザット乳牛ノ數ヲ申シマスレバ、二十五年カラ二十九年マデニ至ル所ノ有様ハ、即チ六割以上ニ上ボツテ居ルノデアリマス、又屠殺スル所ノ頭數ハ、五割以上増シテ居ルノデアリマス、然ルニ出產頭數ハ、如何デアアルカト申シマスレバ、最初ノ二十九年ノ統計ヲ見マスルニ、十二万三千九百二十五頭デアアル、此十二万三千九百二十五頭ノ數ガ、今日屠殺シテ居ル所ノ數ハ、如何デアアルカト云ヘバ、十五万五千九百五十九頭デアアルノデアリマス、サウシテ見ルト云フト、生レル所ノ數ハ、千八百九百頭デアアルノデアリマス、頭數ヲ差引イテ見マスルト云フト、一箇年ニ三万二千幾頭ト云フモノガ、追々日本ノ牛ガ減スルト云フ、右様ニ

ナッテ居ルノデアリマス、其上ニ乳ノタメニ用ヒル頭數ガ、五割以上モ増シ、肉ノタメニ用ヒル頭數ガ、六割以上モ増スト云フノデアリマスカラ、今日此儘ニ到底檢査クコトノ出來ナイト云フコトハ、明瞭ナコトデアアルノデア、然ラバ如何ニシテ此改良方法ヲ講ズルカト云フコトニ附イテ、政府委員ト段々打合セヲ致シマシタ所ガ、政府ニ於テモ今日ノ儘ニ放任スベカラズト云フコトハ、承知ヲシテ居ルコトデアアル、併ナガラ其施設方法ニ至ッテハ、今日此委員會ニ於テ、發表スル程ノ取運ビニハ、ナッテ居ラヌト云フコトデアリマス、ソレ故ニ委員會ハ、即チ種牛場設置ニ關スル補給ト云フノ直ニテ、政府ヨリ外國カラ良種牛ヲ購求シテ、我國ニ彼ノ產馬事業ノ如キ種牛場ヲ設置スル方法ヲ設ケテ、而シテ豫算ヲ當議會ニ速ニ提供スルコトヲ建議シテ置カウト云フコトニ決定致シタノデゴザイマス、是レ即チ法案ヲ委員會ガ、修正致シマシタ理由ノ大略デアリマス、願ハクハ本案ハ、極簡單ノモノデアゴザリマスルカラ、直チニ御賛成アツテ、通過セラレンコトヲ希望致シマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員會ノ修正說ニ附イテ、採決ヲ致シマス
(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ修正ニ御異議アリマスマイカ
(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通過決シマス
○星亨君(二百三十四番) 私ハ緊急動議ヲ茲ニ起シマス、耕地整理法案ヲ明治三十二年法律第三十九號改正法律案ノ委員ニ付託スルト云フコトノ動議ヲ起シマスカラ、議事日程ノ變更ヲ求メマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(九十七番) 前ニ私カラ出シタガ、少シ多數デアッタガ……議ヲ更ニ掛ケルト云フ論デアリマス、ソレハ免ニ角此場合サウナッタガ宜シイ(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ其委員ハ、既ニ整理ニ關スル委員ガアルノデス、丁度ソレヲ待ッテ居ルノデスカラ、早ク星君ノ言ウタ通ナルガ宜シイ
(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 星亨君ノ緊急動議ニ、御異議アリマスマイカ
(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ

○井上角五郎君(百八十番) 議長、本員ハ……
○議長(片岡健吉君) 今ノコトノ結末ヲ附ケナケレバ、他ノコトニハ移レマセヌ

○星亨君(二百三十四番) 今議事日程變更ノコトハ、直チニコ、ニ於テ整理法案ヲ明治三十二年法律第三十九號改正法律案ノ既ニアル委員ニ付託スルト云フコトノ動議ヲ起シマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ

耕地整理法案(政府提出)
第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠

耕地整理法案(政府提出)
第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其ノ所有者土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更及道路、畦畔若ハ溝渠

ノ變更廢置ヲ行フヲ謂フ

一八ニテ自己ノ所有地ノ整理ヲ施行セントスルキハ第二條第五條第九條第十條第十二條乃至第十六條第二十六條第三十條乃至第三十二條及第五十一條ノ規定ニ限リ之ヲ適用又ハ準用ス

第二條 整理地區ノ面積ハ特別ノ事情アルニサラサレハ三十町歩ヲ下ルコトヲ得ス

第三條 耕地ニシテ特別ノ價值用途アル土地及耕地ニアラサル土地ハ其ノ所有者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

前項ノ土地ニシテ其ノ所有者ノ同意ナキト雖整理ノ施行ニ必要ナルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得但シ府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ公用ニ供スル土地宅地名勝地舊蹟地古墳墓地墳墓地社寺境内地鐵道用地及軌道用地ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 建物アル宅地又ハ鐵道用地ハ其ノ建物ノ所有者及登記ヲ爲シタル第三權利者ノ同意アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第五條 御料地國有地又ハ官ノ用ニ供スル土地ハ主務官廳ノ認許アルニアラサレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス

第六條 整理施行ヲ發起セントスル者又ハ整理委員ハ市町村長ノ證明ヲ得テ整理地區ヲ管轄スル登記所土地臺帳所管轄又ハ市役所町村役場ニ對シ無償ニテ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得

第七條 參加土地所有者ハ整理施行中其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルモ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ整理施行ノ爲溝渠堤塘又ハ道路ノ敷地ニ充テタル土地ニ付テハ規約ヲ以テ補償ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八條 整理施行ノ爲必要アル土地ハ整理地區内ノ工作物木石等ヲ移轉シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第九條 整理地區ニ編入シタル土地ヲ讓受ケタル者ハ整理ニ關シテ其ノ讓渡人ノ有スル一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十條 整理施行ノ爲國有ニ屬スル溝渠堤塘道路等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其ノ不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ參加土地所有者ニ交付ス

整理地區内ニ開設シタル溝渠堤塘道路等ニシテ前項ノ規定ニ依リテ廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十一條 參加土地所有者ニハ從前ノ土地ノ地目面積等位等ヲ標準トシ換地ヲ交付スヘシ但シ地目面積等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ從前ノ土地ト換地トノ價額ノ差ハ金錢ヲ以テ之ヲ清算ス

數筆ノ土地ヲ分合シテ換地ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ割當ツヘシ

第十二條 整理地區二市町村以上ニ涉リタル場合ニ於テ換地トシテ交付スル一筆ノ土地ハ二市町村以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條 整理施行中土地ノ區畫形狀ノ變更及道路畦畔若ハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス

第十四條 整理地區ニ編入シタル土地ノ地租ハ其ノ地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スルマテ從前ノ地域地目地價ニ依リテ之ヲ徵收ス

第十五條 整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ明治三十年法律第三十九號ノ規

定ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 整理施行ヲ爲シタル爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登錄ヲ爲ストキハ登錄稅ヲ免除ス

第十七條 本法ニ於テ參加土地所有者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ第五條ノ土地ニアラサル土地ヲ所有スル者ヲ謂フ

第十八條 整理地區ノ屬スル市町村及其ノ隣接市町村ニ住所ヲ有セサル參加土地所有者ハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ニ委任シテ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理セシムルコトヲ得

參加土地所有者前項ノ代理人ヲ定メタルトキハ發起人又ハ整理委員ニ其ノ氏名住所ヲ通知スヘシ

代理人ハ二人以上ノ參加土地所有者ヲ代理スルコトヲ得ス

第十九條 發起人又ハ整理委員ハ第二十二條第二十六條第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其ノ旨ヲ公告シ且之ヲ第四條ニ依ル建物所有者及土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲シタル第三權利者ニ通知スヘシ第三十條乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ

第二章 發起及監督

第二十條 整理施行ヲ發起スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト

二 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ面積整理地區ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

三 整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ地價額整理地區ノ地價總額ノ三分ノ二以上ナルコト

前項ノ條件ヲ具備シタルトキハ發起人ハ整理施行ノ發起スル旨ヲ市町村長ニ届出ヘシ

第二十一條 發起人ハ發起ノ爲必要アルトキハ市町村長ノ認許ヲ得テ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得但シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スヘシ

第二十二條 發起人ハ設計書及規約ヲ作り地方官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理ニ因リテ得ヘキ利益

二 整理施行ノ方法及順序

三 整理地區及之ニ隣接スル土地ノ現形圖

四 整理豫定圖

五 工事ノ著手及竣成ノ時期

六 整理費用及夫役ノ豫算

七 整理規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理總會ノ招集及會議ノ方法

二 整理委員ノ員數職務及職務執行方法

三 處務ニ關スル規定

四 補償金評定ノ標準

五 發起及整理ノ費用並夫役ノ賦課徵收方法

六 整理中土地使用ノ方法

七 換地割當及増歩地處分ノ方法

第二十五條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク創業總會ヲ招集シテ設計書及規約ノ議定ヲ求ムヘシ

第二十六條 創業總會ニ於テ設計書及規約ヲ議定シタルトキハ發起人ハ地方長官ヲ經由シテ農務大臣ニ之ヲ差出シ整理施行ノ認可ヲ申請スヘシ

第二十七條 整理施行ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク創業總會ヲ招集スヘシ此ノ總會ニ於テハ參加土地所有者整理委員ヲ互選ス

第二十八條 參加土地所有者ハ整理施行ノ認可ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス但シ第三條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ所有者ハ認可ノ公告ノ日より三十日以内ニ農務大臣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 裁決前ニ於テハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第三十條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖第三條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可ノ公告ノ日より三十日ヲ經過スルニアラサレハ整理工事ニ著手スルコトヲ得ス

第三十一條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 設計書ニ定メタル工事著手ノ期限後十二箇月以内ニ工事ニ著手セザルトキハ農務大臣ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第三十三條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ一時整理工事ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第三章 總會

第三十三條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十四條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日以前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ

前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スヘキ事項ヲ記載スヘシ

參加土地所有者ハ前二項ノ手續ニ反シテ爲シタル決議ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得但シ其ノ決議ノ日より三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 總會ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外整理委員之ヲ招集ス

第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ整理地區ノ總面積若ハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及ヒ其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ヲ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集スヘシ

第三十七條 各參加土地所有者ハ一箇ノ議決權ヲ有ス

前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケス但シ其ノ議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共有者ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ

第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラシテ設計書若ハ規約ヲ變更シ又ハ整理施行ヲ停止若ハ廢止セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

前項ニ依リ整理施行ノ停止若ハ廢止ノ決議ヲ爲ストキハ同時ニ其ノ停止

中若ハ廢止後ノ處分方法ヲ決議スヘシ

第四十條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十一條 創業總會ノ決議及第三十九條第四十七條及第五十三條ノ決議ヲ爲スニハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

第四章 整理委員

第四十二條 整理委員三人以上ナルトキハ委員長一人ヲ互選スヘシ

委員長ハ整理委員ヲ代表ス

第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ代表ス

第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理施行ノ責任ヲ負フ

第四十五條 整理委員ハ設計書、規約及總會ノ決議錄ヲ備ヘ置クヘシ

參加土地所有者及第三權利者ハ前項ノ書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條 整理工事完了シタルトキハ整理委員ハ第十一條ノ處分及増歩地ノ處分ニ關シ總會ノ決議ヲ經ヘシ

第四十八條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十九條 所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土地其ノ所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其ノ土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金銀ヲ受取ルヘキモノナルトキハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ金額ヲ供託スヘシ

第五十條 整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ整理委員ハ參加土地所有者ニ代リテ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十一條 整理事業完了シタルトキハ整理委員ハ事業報告書及收支決算書ヲ作り總會ノ承認ヲ求ムヘシ

整理總會前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ整理委員ハ遲滞ナク地方長官ヲ經由シテ前項ノ書類ヲ農務大臣ニ差出スヘシ

第五十二條 整理委員其ノ職務ヲ終リタルトキハ整理ニ關スル一切ノ書類ヲ市町村長ニ引渡スヘシ

前項ノ書類ノ保存期間ハ農務大臣之ヲ定ム

第五十三條 整理委員ノ選任及解任ハ總會ノ決議ニ依ル

第五十四條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ整理委員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第五十五條 整理委員ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ學術技藝アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ總會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得

第五章 第三權利者

第五十六條 第三權利者ハ整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第五十七條 換地ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外從前ノ土地ニ關ス

ル物權又ハ債權ノ目的タルモノトス

整理施行ハ從前ノ土地ニ關スル登記ノ順位ニ影響ヲ及ボサス

第五十八條 整理地區ニ編入シタル土地ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルヘキモノナルトキハ整理委員ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ

先取特權者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ規定ニ依リテ供託シタル金錢ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第五十九條 賃借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但シ第四十八條ノ認可ノ公告アリタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シ解除ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第六十條 賃借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ賃借人ニ對シ借賃ノ減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第六十一條 整理地區ニ編入シタル土地ニ上權者又ハ永小作權者アル場合ニ於テ其ノ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者又ハ永小作權者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

民法第二百六十八條第一項但書ノ規定ハ地上權者前項ノ規定ニ依リテ其ノ權利ヲ拋棄シタル場合ニ之ヲ適用セス

第五十九條第一項但書ノ規定ハ地上權又ハ永小作權ノ拋棄ニ之ヲ準用ス

第六十二條 第六十條ノ規定ハ地上權及永小作權ニ之ヲ準用ス

第六十三條 整理地區ニ編入シタル土地ノ上ニ存スル地役權ハ整理施行ノ後仍其ノ土地ノ上ニ存ス

地役權者カ整理施行ノ爲其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス

整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ要求スルコトヲ得

第六章 費用

第六十四條 費用及夫役ハ規約ノ定ムル所ニ依リ參加土地所有者之ヲ負擔ス

第六十五條 參加土地所有者費用ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ整理委員ノ請求ニ因リ市町村稅徵收ノ方法ニ準シテ之ヲ徵收ス

參加土地所有者夫役ヲ供給セサルトキハ整理委員ハ金額ニ算出シテ之ヲ徵收ス此ノ徵收ニ付テ亦前項ノ規定ニ依ル

第七章 罰則

第六十六條 發起人又ハ整理委員左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ二圓以上五十圓以下ノ過料ニ處ス

一 第十九條ノ規定ニ違反シテ公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 第二十八條第一項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シテ整理工事ニ著手シタルトキ

三 第三十六條第二項ノ規定ニ違反シテ總會ヲ招集セサルトキ

四 第三十九條第四十條ノ手續ニ依ラスシテ整理施行ヲ停止シ又ハ廢止シタルトキ

第六十七條 前條ニ定メタル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 整理施行ノ爲設ケタル標石又ハ標杭ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル場合ニ於テ刑法第四百二十條ニ該當セサル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八章 附則

第六十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十條 整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第七十一條 北海道、沖繩縣及市制、町村制ヲ施行セサル島嶼ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、星君ノ動議ノ通致シマス

○井上角五郎君(百八十番) 本員ハ矢張一ツノ緊急動議ヲ起シマス、議事日程ノ變更ヲ求メマス、ソレハ本日ノ議事日程第二十五博覽會ヲ大阪ニ置クノ建議案竝ニ第二十六博覽會ヲ東京ニ置クノ建議案ヲ繰上ゲテ、直チニ議題ニ供スル……

(賛成「反對」ノ聲交、起ル)

○議長(片岡健吉君) 是ハ贊成ガアリマスカラ、採決ヲ致シマス、井上角五郎君ノ緊急動議、議事日程第二十五二十六ヲ議事日程ヲ變更シテ、直チニ議サウト云フ動議、是ニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、ソレデハ議事日程ヲ變更シテ、第二十五二十六ヲ議スルコトニ致シマス、委員長報告、藤金作君

第二十五 第五回內國勸業博覽會ヲ大阪ニ開設スルノ建議案(藤金作君外十一名提出) (委員長報告)

第二十六 第五回內國勸業博覽會開設ヲ東京市ニ設置スルノ建議案(星亨君外十三名提出) (委員長報告)

(藤金作君演壇ニ登ル)

○藤金作君(百二十六番) 第五回內國勸業博覽會ヲ大阪ニ開設スル建議案竝ニ第五回內國勸業博覽會ヲ東京市ニ設置スル建議案(「チットモ分ラヌ」ト呼フ者アリ)ドウゾ御靜ニ願ヒマス、本案ニ附イテ特別委員ノ指名ヲ受ケマシテ、過日委員會ヲ開キマシテ、委員長理事ノ選舉ヲ致シマシタ、委員長ニ不肖藤金作、理事ニ淺香克孝君ガ當選セラレマシタ、而シマシテ昨日其第二回ヲ開キマシテ、此二案ニ、附イテ審議討論ヲ致シマシタル末、可否ヲ分ツニ至リマシテ、第五回內國博覽會ヲ大阪ニ開クト云フ案ヨリ、可否ヲ分チマシタ所ガ、少數ニシテ否決致シマシタ、續イテ東京ニ開クト云フ建議案ノ可否ヲ採リマシタレバ、是ハ多數ニ依ツテ、一名ノ多數ニ依ツテ可決致シマシタ、別段是ニ附イテ多少ノ議論ハアリマシタケレドモ、一々御報道スルノ必要ハナイト存

シマス、尤モ少數者ニ於テ、意見ヲ提出スルト云フコトデゴザリマシタガ、其意見ハ喜多川孝經君ガ、意見ヲ述ベルト云フコトニ承テ居リマス、此旨御報告ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 喜多川孝經君

(喜多川孝經君演壇ニ登ル)

○喜多川孝經君(二十一番) 諸君、私ハ少數者ノ意見ヲ茲ニ報告シテ、諸君ノ御同意ヲ求メヤウト思ヒマス、委員會ノ經過ナリ結果ナリニ至リマシテハ、唯今委員長ガ述ベラレマシタ次第デゴザイマスガ、抑、此博覽會ヲ大阪ニシヤウト云フコト、東京ニシヤウト云フコト、ノ兩建議ニ附キマシテハ、種種ナル事情ガアラウト存シマス、併ナガラ要スルニ此博覽會ノコトハ、即チ其博覽會ノ效能ヲシテ、全カラシムルコトヲ期スルガ、私ハ第一ノ必要デアラウト存シマス、ソレデモ、少數者ノ意見ハ、即チ先ヅ此第五回ノ博覽會ハ大阪ニ開設スルガ尤モ適當デアール——適當ニシテ最モ必要ヲ認メテ居ル、其必要ト適當ト認メマスル所ノモノハ、即チ以前ニ於テ既ニ此出品數ナリ又工業人ナリ商業人ナリノ數ニ於キマシテ、比較的此關東ト關西ト先ヅ名古屋ヲ以テ分別致シマスレバ、關西ノ方ガ殆ド關東ノ倍數ニ居ルデゴザイマス、而シテ運搬ノ便カラ申シマシテモ、亦經濟上ノ上カラ申シマシテモ、殆ド今同此五回ノ內閣勸業博覽會ヲ開クハ、大阪デナケラナナラヌト確信シテ居ル吾々少數者デゴザリマス(「ヒヤ」「ヒヤ」ト呼ビ又「ノー」「ノー」トモウ分テ居ルカラ簡短ニヤリタマヘト呼フ者アリ)サウシテ少數者ナル吾々ガ、之ヲ確信シテ居リマスルノミナラズ、既ニ前博覽會ノ豫算ヲ協賛ト云フトキニ方ッテ、農商務次官ガ此議場ニ於テ、既ニ輪環シテ此博覽會ヲ三都ニ開クト云フコトヲ明ニ申シテ居ルデゴザイマス、議場モ亦之ヲ認メテ居ルデゴザリマス、加之ナラズ此大官ガ大阪府知事ナリ京都府知事ニ向ッテ、非常ナル此京都ト大阪トノ間ニ競爭ガゴザリマシテ、其他位ヲ取合ヒマシタ際ニ、口約ヲシテ居ル所ノモノガゴザイマス、ソレデモ此口約ノコトニ至ッテハ、或ハ一ノ次官ガ左様ナコトヲ申シタ所ガ一向此議場ニ於テ、ソレヲ取捨採擇スル程ノモノデナイト云フヤウナ議論ガゴザリマスルケレドモ、斯ノ如キノ暴論ハ殆ド此行政權ト云フモノナリ又行政官吏ノ云フコトガ、マルデ一ノ價ナイトシテ、行政官ノスル仕事ニ向ッテ非常ナル弊害ヲ殘スコトデアラウト思フノデ、ソレデ又此地方ノ方ニ向ヒマシテハ、此行政官即チ行政權ニ屬スル所ノ此博覽會ノ地位ヲ定メマスルコトナドニ至リマシテハ、即チ行政官ノ云フ所又指示スルコト、云フモノハ、誠ニ約束ヨリモ固イコトデアラウト云フコトヲ信シテ居ルデゴザイマス、即チ約束シタモノト確信シテ居ルデゴザイマス、然ルニ今若シ斯ノ如キコトヲ無理無體ニ頭押シテ以テ、或ハ競爭シテ、大ニ之ヲ潰スト云フニ至ッテハ、實ニ此行政權ト云フモノ、上ニ非常ナル私ハ妨害ヲ加ヘルコト、確信スルデゴザイマス、加之ナラズ尙ホ且ツ認メテ居ル所ノモノハ、昨年既ニ農工商高等會議ニ於テ是等ノ審查ヲシテ、政府ニ向ッテ即チ農商務省——農商務省ノ諮問デアッタカト思ヒマシタガ、是ニ答申ヲ出シテ、既ニ其答申ニ於キマシテモ、第五回內閣勸業博覽會ハ大阪ニ開クヲ適當トシ、續イテ明治四十年頃ニ至ッテ萬國博覽會ヲ開イテ、是ハ東京ニ置クト云フコトヲ以テ、即チ其諮問ニ答ヘテ居ルデゴザリマス、ソレカラ此反對大阪ニ置クベカラズ、東京ニ置

クト云フ御論者ノ方デハ、既ニ大阪ニ近イ所ノ京都ニ於テ、第四回勸業博覽會ヲ開イタノデアールカラシテ、第五回ハ東京ニ持ッテ來ナケレバナラヌ、一地方ノ方ニ偏スルト云フ嫌ガアルト云フヤウナ反對說モゴザリマスルケレドモ、若シ此論法デ言ヒマシタナラバ、內閣勸業博覽會ハ、一回二回三回マデハ、現ニ東京デ開イテ居ルデゴザリマス、而モ此東京ハ一市內同様ノ所デ、即チ同地ニ於テ開イテ居ルデゴザリマス、然ルニ同シ關西トハ申シナガラ、昨年京都デ開キ、今又大阪デ開カウト云フノデゴザイマスカラシテ、決シテ同シ所ニ開ク譯デハナカラウト思ヒマス、況ヤ此大ニ萬國博覽會ト云フモノハ、此東京ニ於テ開クガ至當ナリト云フコトハ、我國ノ一般ノ人ガ認メテ居ル所デアラウト私ハ存シマス、若シ之ガ第五回ノ勸業博覽會ヲ東京ニ開キ、又萬國博覽會ヲ東京ニ開クコトニナレバ、二ツナガラ皆一ツ所ニ開ク結果ニナリマス、斯ノ如キ議論ハ私共ハ甚ダ其當ヲ得タルモノト云フコトハ出來マセヌノデゴザリマス、右様ノ始末デゴザイマスルカラシテ、色々之ニ附イテハ、調査シタル所ノモノ、及此數ノ上ニ於キマシテモ、經濟ノ上ニ於キマシテモ、明ニ東京ヨリハ大阪デナケレバナラヌト云フコトヲ證明スルコトガ出來マスルノデゴザイマス、ケレドモ既ニ議論シテハ略、極ッテ居ルモノト私ハ信シマスルノミナラズ、殊ニ此農商務次官ガ口約ヲシテ居リマスルコトデゴザイマス、故ニ政府ハ決シテ此行政權ヲ曲ゲルコトハナイト確信シマスルガ故ニ、此議論ヲコ、ニ止メマシテ、諸君ノ御贊同ヲ求メル次第デゴザリマス

○早川龍介君(二十七番) 議長

○議長(片岡健吉君) 早川龍介君

○井上角五郎君(百八十番) 議長

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○井上角五郎君(百八十番) 只今ノ少數意見ニ附キマシテ、一言シタイコトガゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○井上角五郎君(百八十番) 質問デモ宜シウゴザイマス——宜シウゴザイマス、質問デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 質問デナケレバ、發言ハ許シマセヌ

○井上角五郎君(百八十番) ソレデハ質問ヲ致シマス、只今少數者ガ意見ヲ述ベルニ當ッテ、農工商高等會議ニ於テ、三十五年ノ博覽會ハ大阪ニ開クコトニ取極メタト云フコトヲ御演說ニナッタガ、本員ハ現ニ其高等會議ノ一議員、決シテ左様ナコトハゴザイマセヌデシタ、然ルニ左様ナ御議論ニナルハ、之ヲ質問ノ體裁ニスレバ、何處ノ國ノ高等會議ト云フノデアールカ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ——宜シウゴザイマス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

(早川龍介君演壇ニ登ル)

○早川龍介君(二十七番) 私ハ此博覽會ノ兩案ニ對シテ、反對ヲ致スモノデゴザイマス、全體今同大阪ニ開ク、或ハ東京ニ開クト申シマスルモノハ、博覽會ト云フコトニ附キマシテ、唯地位ヲ爭ハレルダケノコトデアッテ、非常ニ雙方ノ運動ノゴザリマスコトヲ私ハ大ニ憂ヘル者デアール、既ニ日本ニ段々博覽會ガゴザイマシタ、其博覽會ハ殆ド御祭騒ノヤウナコトガ多クアッタノ

デゴザリマス、然ルニ私ハ始テ參ッテ見タノデゴザイマスルガ、此亞米利加ノシカゴニ於テ開カレマシタ世界博覽會ノ如キモノニ參ッテ見マスルト、實ニ此一般此未開ノ地ニ在ル所ノ人ガ往ッテ見テ、大ニ此人智ヲ開發スベキ大目ヲ以テ開カレテ居ルノデゴザイマス、ソコデ此博覽會ノ現況ヲ見マスレバ、全ク此世界ノ上ニ於キマシテ、或ハ未開デアルトカ、或ハ半開デアルトカ申スコトヲ以テ稱セラレテ居リマスル國カラ、更ニ一品ノ提出モナイト申シマスルノハ、即チ機械館ガ全ク朝鮮トカ支那トカ申シマスルヤウナ處カラハ、出テ居ラヌ、殆ド之ヲ唯概言シマシテ、左様ニ申シマスルハ、少シ極言カ存ジマセヌガ、此歐米ノ文明ト云フモノ、重ナルモノハ、何デアアルカト申シマスレバ、即チ此機械ノ發達、即チ鐵ト云フモノガ非常ナル文明ヲ導イデ居ルノデアアルト考ヘルデ、先ヅ一言致シマスレバ、道ノ上モ鐵ノ上ヲ歩キ、家モ鐵ノ家ヲ作ッテ這入ッテ居ル、總テ萬々鐵ト云フモノ、作用ニ依ッテ、此文明ト云フ、即チ形ノ上ニ顯レタ文明ト云フモノハ、十分ニ是ニ見エラレテ居ルノデゴザイマス、ソレデ今日日本杯デモ、マダ十分ナル形ノ上ノ開化ヲ見マセヌノハ、上ニ附イデハ、大ニ此外國ノ形勢ト日本ト直ニ一見シテ、日本杯ガ大層外國ト比較シテ見劣リマスル所以ガアルダラウト思ヒマス、故ニドウシマシテモ此大ニ内國博覽會ハ、是非トモ此機械ト申シマスルモノダケハ、實メテ世界ヲ通ジマシタ出品ヲ希望致シマスルヤウニ希望致シタイト考ヘテ居ル、ソレカラモウ一ツソレニ續キマシテ、御承知ノ通東洋ノ美術ト申シマスルモノト、西洋ノ美術ト申シマスルモノガ、唯今非常ナ一問題ニナッテ居ル、或ハ繪畫ノ如キモノデゴザイマシテモ唯(簡短々々)ト呼フ者多シ(簡短デナイ大變ナ問題デスカラ、暫ク——其美術ノ佛蘭西アタリデヤカマシイ問題ニナッテ居リマスルノハ、唯現象ノ上ニ於キマシテ、寫生ヲ尊ブト云フコト、精神ノ上ノ多少ニ依ッテ美術ノ眞理ヲ極メテ居ルト申スコトガ、一ノ戰ニナッテ居ル、其美術ト申シマスルモノガ、東西洋ノ戰ガ何レニ此美術ノ精神ガ歸著スルト申シマスルコトヲコ、ニ論定シマスルメニハ、美術ハ世界ヲ通ズルト云フコトハ、必要デアラウト考ヘル、ソコデ詰リ美術夫カラ美術工藝此機械ト申シマスル三種ハ、是非トモ此大ニ内國勸業博覽會ハ、世界ヲ通ジマシタ出品ヲ許シマシタナラバ、大ニ此日本人ノ耳目ヲ開發シマスル上ニ附イデハ、非常ナル利益ヲ受ケルコトガアラウト考ヘテ居ル、而シマシテ又此議場ヘ建議案トシテ現レテ居リマスルモノハ、水産部ヲ萬國通ズルト申スコトガ起ッテ居リマス、(止メタマヘシ)「東京ニ贊成シタマヘト呼フ者アリ」ソレデ私ハ此東京トモ大阪トモ申スノデハナイ(大阪デナクテハイカヌ)ト呼フ者アリ唯諸君ガ單純ニ(議場騒然單純ニ之ヲ東京ニシタイトカ、大阪ニシタイトカ云フコトヲ以テ、戰場ノ爭ヲ爲サルト申スルカ、何程ガ、甚ダ私ハ分ラヌ先ヅ以テ此大ニ博覽會ハ如何ナル計畫ヲ以テヤタルカ、何程ノ費用ヲコ、ニ議定スルカ、又御承知ノ通シカゴ紐育ト爭ヒマシタキニ、シカゴ近邊ノ義捐金高ハ五百万以上ニ上ボッタ、何故ニ實力ノ上ニ於テ、諸君ハモウ少シ力ヲ入レテ、戰ヲ爲サラヌカ、唯議員ニ配付テ贊成シテ呉レ、贊成シテ呉レト云フ、今日二十万カ三十万ノ博覽會ノタメニソコヘ往ッテハ、決シテ是ハ世界ニ褒メラレル氣遣モナケレバ、日本人智ヲ開發スルト申ス利益ニモ決シテナラヌ、故ニ此大計畫ヲ定メテ、又右等ノ種類ニ依ッテ、世界ヲ通ズルト申シマスルコトハ、隨分調査ノ必要モアリ、又此實際ヲ取調

ベタ結果トシテハ、或ハ當局者ハ東京ニ開カネバナラヌト云フコトヲ感ズルカ、或ハ大阪デモ宜イト申スコトヲ感ズルカモ分ラヌ、免ニ角此調査ト、此計畫ト金ノイル高ト、ソレコレヲスツカリ取調ベマシテ、免ニ角今度ノ位置杯ハ、當局大臣ノ適宜ニ任セルト申スコトガ宜カラウト思ヒマス、故ニコ、ニ於テ兩案ノ唯位置ト云フダケヲ極メテ、計畫モ何モナシニ唯小供ノ爭ノヤウナコトヲ極メルト申スコトハ、私ハ非常ニ不贊成デゴザイマス、兩案共ニ否決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 利光鶴松君

〔討論終結〕ノ聲起リ「贊成」ト呼フ者多シ

〔利光鶴松君演壇ニ登ル〕

○議長(片岡健吉君) 發言ハ許シマシタガ、——靜ニ靜ニ、今發言ハ許シマシタガ、討論終結ニ御異議ハアリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ討論終結ト認メマス

○星亨君(二百三十四番) 唯今ノ早川君ノハ、是ヲ先決問題トスルノデゴザイマス、又ハ唯反對說トスルノデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ先決問題ト致シマセヌ、反對論否決論ト認メテ居リマス

○星亨君(二百三十四番) 本案ノ決ヲ採ルニ附イテハチヨット私ハ議長ニ申上ダタイコトガゴザイマス、少數者ノ意見ト云フハ、反對論ト見ルノ外ハナイ、サウスレバ委員會ノ決ヲ御採リニナレバ、ソレデ分ラウト考ヘルノデアアル、二度シナクテモ宜カラウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 議長ハ斯ウ考ヘテ居リマス、日程ノ二十五ハ委員會ハ之ヲ否決シテ居リマス、少數ノ意見ハ本案ヲ贊成ヲシテ居リマス、ソレデ此委員會ノ報告ハ、否決論デアリマス見カ、少數意見ニ附イテ採決シャウト思フテ居ル(議長ハ公平ナリト呼フ者アリ)此採決ニ附イテハ定規ノ贊成ヲ得ラレテ、無記名投票ニシテ貫ヒタイト云フ要求ガアリマス、此採決ハ無記名投票ニ決シマス

○中村榮助君(二百七十番) チヨット伺ヒマス、少數者ノ意見ニ贊成ハ……

〔マダ宣告ガナイト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 閉鎖——宣告ヲ致シマスガ、少數ノ意見、即チ原案贊成者ハ、白イ球ヲ入レマスル

〔大阪デスカト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 大阪デス——宣告ヲ致シ直シマス、少數ノ意見、即チ内國博覽會ヲ大阪ニ設立スルト云フニ同意ノ諸君ハ、白球ヲ入レマスル、此案ヲ否決シャウト云フ反對論者ハ、黒イ球ヲ入レルトコトニ致シマス

○早川龍介君(二十七番) 念ノタメニ伺ヒマス、私ノ兩方ニ反對ト云フノハ、兩方トモ黒イ球ヲ入レルトコトニナリマス

○議長(片岡健吉君) 兩方トモ反對ノ人ハ、兩方トモ黒イ球ヲ入レル——氏名點呼ヲ始メマス

〔廣瀬書記官氏名ヲ點呼ス〕

○議長(片岡健吉君) 投票漏ハアリマセヌカ、開鎖、是ヨリ開票致シマス

〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕

○議長(片岡健吉君) 名刺ノ數ト球ノ數ト合ヒマセヌ、球ノ數ガ一ツ多イデス、併シ是ハ贊否ノ數ニ格別關係ハアリマセヌカラ、前例モアリマスカラ、

投票ヲ仕直サズシテ、採決ヲ致スニ異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

(本山書記官朗讀)

出席總數二百二十九

白球 二百二十二

黑球 百八

(拍手起ル)

○議長(片岡健吉君) 自然ノ結果トシテ、議事日程ノ第二十六ハ、議セナイコトニナラト思ヒマスガ(拍手起ル)異議ハアリマスマイカ(拍手起ル)

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、日程二十六ハ、議セナイコトニ致シマス——是ヨリ第十三、國有林野調查會設置ニ關スル建議案、委員長ノ報告——工藤行幹君

第十三 國有林野調查會設置ニ關スル建議案 (委員長報告)

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○大長輪兵衛君(百四十八番) 是ヨリ明治二十二年法律第十號中改正法律案ノ委員會議ヲ開キタリマスカラ、許可ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 大長輪兵衛君ヨリ委員會ヲ開キタリト云フコトデゴザイマスガ、許シテ差支アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 許スコトニ致シマス

○工藤行幹君(百二十五番) 國有林野調查會設置ニ關スル建議案ノ審査委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此案ノ委員會ハ二月二十四日ニ委員長理事ノ互選ヲ致シマシテ、ワレカラ二十五日ニ此會ヲ開イテ、直チニ終了致シマシタノデゴザイマス、然シテ此案ハ御手許ニ上ゲテ置キマス通、可決スベキモノト決定致シマシタノデゴザイマス、併シニ於テ唯委員會ノ模様ヲ少シク御報告申シテ置カナケレバナラヌノデゴザイマス、此提出者ノ意思ハ、既ニ是ニ書イテアリマス通、今度山林ノコトニ附イテ、政府ハ特別會計マデモ設ケテ、大イニ山林ヲ處理スルコトハ、國家百年ノ利害ニ關係スルコトデアリ、又一方ニハ原野ノ拂下ヲヤルタメニ、是モナカク、是マデハ、此林野ノ拂下ト云フコトニ附イテ、農商務省ノヤリ方ニハ、隨分非難ノ聲モ多イコトデゴザイマスカラ、是等ニ對シテノ諮問ニ應ズルタメニ、調查會ト云フモノヲ設立致シタト云フ趣意ニ外ナラヌノデゴザイマス、然ルニ他ノ是ニ反對スル論者ノ言フノデゴザイマス、是マデ委員會ト云フモノハ、色々ノ設ケテアルケレドモ、免角其委員會ニ好結果ヲ得タモノハ少イノデアアル、彼ノ法典調查會ヲ除クノ外ハ、大抵委員會ヲ設ケタダケノ功績ガ見ユナイ、却テ其間ニ種々ナル弊ガアル位ノコトデアアル、尤モ此調查會ナルモノハ、法律ニ定メタルモノデアラナラバ、此委員ニ於テ相當ノ權限ガゴザイマスカラ、或ハ有效トモ思ハレルカモ知レマセケレドモ、此性質ハサウザヤナイ、此鐵道會ノ如ク法律ニ定メタルモノデアラナラバ、極權限ガ狹イ、縱令有爲ノ人ヲ會員トシテ見タ所ガ、十分ニ自分ノ意見ヲ實地ニ施行スルヤウナコトハ、出來ナイノデアアル、且ツ提出者ノ言フ所ノ、或ハ朝野カラ此人ヲ選ム、其野ト云フ中ニハ、

衆議院議員貴族院議員モ選ミタイト云フコトデゴザイマスガ、前申シタ如ク權限ノ狹イモノニナラナラ、唯諮問ニ應ズル位ノコトデハ、却テ兩院議員ノ價値ヲ落サユナモノデアアル、故ニ寧ロ斯ク云フモノハ、ナケレバ宜イト云フ反對モゴザイマス、併シ政府委員ニ、政府ノ意圖ハドウデアアルカト尋ネテ見ルト、政府委員ノ言フ所デハ、勿論此山林ノ處分ニ附イテハ、或ハ此水利ニ關係ノコトガアリ、或ハ國土ノ保安ニ關係スルコトガアルニ附イテ、無論之ヲ處分スルニ附イテハ、矢張調查會ノ如キモノヲ組織スル積デアアルケレドモ、其組織ハ野ニアル人ヲ入レヤウトハ思ハナイ、一ノ例ヲ舉ゲテ見レバ、或ハ内務省ニ關係スルコトモアリ、文部省ニ關係スルコトガアルカラ、サウ云フ類ノ人ヲ集メテ協議シテヤル、農商務省限デヤラヌト云フコトダケハ、今カラ言フコトハ出來ルガ、野ニアル此人ヲ入レヤウト云フコトハ、思モ寄ラヌコトデアアルカラ、詰リ此案ニハ反對ト云フ意見ヲ云フノデゴザイマス、ソコデ委員會ハ審議ノ末、三人ニ對スル四人ノ多數デ、本案ヲ可決スルモノト決定致シタノデゴザイマスカラ、尙ホ本會ニ於テモ宜シク御審議アラシコトヲ願ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) ドウカ直ニ可決セラレンコトヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 反對ノ通告ガアリマス、中村彌六君

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(百四十番) 本員ハ此建議案ニ附キマシテ、反對ノ意見ヲ持テ居ルノデ、極テ簡短ニ述ベマシテ、諸君ノ御同意ヲ得タイト考ヘマス、元來調查會ト云フモノハ、森林ニ限ラズ此法典ノ調查會ナリ、水產調查會ナリ、之ニ似寄ッタ土木會鐵道會議ト云フモノガ、一時出來マシテゴザイマスガ、是ハ吾々ノ想像スル所ニ依ルト、能ク解釋シタ所ガ、貴衆兩院ノ議員ヲシテ行政部内ノコトニ通曉セシメタイト云フ意見デアアル、惡ルク解釋スレバ之ニ依ッテ、多少兩院議員ノ感情ヲ得ヤウト云フコトデアラッタラウト思ヒマス、總テ既往ノ此會ナラモノニ徴シテ見ルニ、鐵道會ノ如キモノニシマシテモ、是ハ私ガ今更上申グルマデモナク、寧ロ大ナル弊ハアッタニシテモ、益ト云フモノハナカク、タノデアリマセウ、又既ニ設ケテアッタ水產調查會ノ如キモノ、既ニ政府モ其必要ヲ認メシテ、之ヲ廢シタ、本員モ其調查會ノ委員ト致シテ、暫ク從事致シマシタガ、更ニ其必要ヲ見ザルノミナラズ、唯徒ラニサウ云フ機關ヲ増シテ、行政ノ滯滞ヲ來スト云フ弊ヲ十分認メタ、又土木會ノ如キモノ同ジコトデ、是ハ本員モ其委員デアリマスガ、是モ止メルコトガ却テ得策ト云フコトヲ實踐シテ居リマス、今日マデ何會ト云フコトガアリマシテ、稍益ヲナシタト云フノハ、法典調查會、是ハ何ガ益ヲナシタカト云フニ、流石ニ法典ノコトデゴザイマスカラ、素人ガ這入ッテモ分ラナイ、故ニ稍々法律ニ明ルイ人ガ、少數デ這入ッタメニ弊ト云フモノガ少ナイ、大イニ利シタト云フ位ノモノデアリマス、今日マデ何會ト云フモノハ、斯ク會ト云ヒ、所謂名コソ違ヘ、此處ニ出テ居ル調查會ト云フヤウナモノハ、事實斯ノ如キモノデ、更ニ今度建議ニナル調查會ハ、如何ナル利益ガアルカ、如何ナル點ニ於テ調査ヲスルカト云ヘバ、此趣意書ニモアリマス如ク、今後大イニ山林ノ整理ヲスル、森林原野法ニ通ツタ、下戻法ハモッテ依ッテ、之ガ監督ノ地位ニ立ツガ如キ理由ガ書イテアリマスガ、是ハ決シテ斯ノ如キ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、下戻法案ノ如キモノハ、元ト行政ノ仕事トハ云ヘドモ、或ハ從來舊政府以來ノ德川以來ノ各藩々ノ地方方法ニ十分適應シナケレバ、此コトノ判斷ガ附クモノデアナイ、一段歩一畝歩ノ下戻

ノ出願ニシテモ、其場所、處ニ依ツタナラバ、大キナ行李ニ一杯ノ證書ヲ點檢シテ往カケレバナラヌモノデゴザイマス、今日ニモ森林ニ從事シテ居ルモノハ、千數百人ゴザイマセウガ、此下戻法案ニ附イテ能ク林業上ノ經驗ト判斷力ヲ以テ此業務ノ執レルト云フモノ、恐ラク二十人ナインデゴザイマス、又此整理ノコトニ附イテモ、サウ云フコトハ急ニ出マシテ、ヤリマシタ所ガ、唯、行政ノ事務ヲ滯滞スルニ止マルト云フコトハ、明ナルコトナルノミナラズ、是ハ利害ノ關係ガ附イテ居ル、森林土地原野ヲ整理スルコトニナルト、彼處ノ林ハ拂下グル、彼處ハ交換スル、彼處ノ原野ハ賣拂フト云フヤウナコトハ、餘程官紀ヲ振肅シテ嚴密ニシテ貫ハナケレバナラヌコトデアル、然ルニ本案ニ依ルコト、朝野ノ人士ヲ集メル、野ニ在ル人士ヲ集メテ、此制裁ガ附カト云フコトヲ疑フノデアル、今日マデ、アルト、野ノ者ト云フモノハ、官吏服務規則ノ外ニ立ツテ居ルモノデアル、官吏ノ官紀ヲ振肅シテ、如何ナル利害ノコトデモ漏洩セヌヤウニヤツテ往クモノハ、唯一ノ服務規律ノ制裁ヲ受ケテ往クノデアル、然ルニ野ニ在ルモノハ、ソレガナイタメニ、大ニ困難ヲ致ス所デアル、今日マデ利害ノ關係ノアツタ所ノ鐵道會杯ガ、醜聞紛々タル所以ハ、實ニ此ニ存シテ居ルト信シテ居ルノデアル、且ツ又行政ノ官制ヲ見デモ、農商務大臣ナルモノガ、即チ行政ノコトヲ職權ニ依ツテ行フノデ、其上ニ監督ヤウノモノハ、決シテ置クコトハ出來ナイ、ソレダケノ職權ヲ與ヘルコトハ出來ナイ、ドナダガ農商務大臣ニナツタ所ガ、サウ云ウコトハ出來ナイ、唯物品經濟ニ於テ會計檢査院ガ事後ノ監督ヲスル、唯一ノ機關ガアルノミデアル、サスレバ取モ直サズ能ク往ツテ諮詢ニ應ズルダケデ、諮詢ニ應ジタ所ガ、採用スルト否トハ、大臣ノ職權内ニアルコトデアリマス、故ニ幾多ノ會員ガアツテモ、委員會ニ諮詢シテ斯ウシタラ宜カラウト云フコトニ過ギタモノデアル、モウ一ツハ事實此ノ如キデゴザイマスガ故ニ、貴衆兩院ノ議員ガ、此諮詢ニ應ジテ、農商務大臣又ハ其以下ノ者ノ諮詢ニ應ジテ、殆ド恰モ屬官ノ仕事ニ從事シナケレバナラヌト云フコトニ至リマシタナラバ、恐クハ兩院議員ノ品位ニモ關スルコト、考ヘマス、私ハ斯ノ如キ次第デゴザイマスガ故ニ、又此事柄ハ隨分専門ニ涉ルコトデゴザイマスカラ、既往ノ成績ヲ調査シ、將來ニ互ルコトヲ推究スルノデアルカラ、斯ノ如キ調査會ノ必要アリト云フ場合ニ於テ、行政廳ノ自發ヨリ拵ヘルナラバ、卒ザ知ラズ、議會カラ建議スルニ至ツテハ、全ク反對デゴザイマスル故ニ、諸君ハ此意ヲ御贊成下サルコトヲ希望致シマス

(杉田定一君演壇ニ登ル)

○杉田定一君(二百九十九番) 私ハ此國有林野調査會設置ノ建議案ニハ、贊成スル所ノモノデアリマス、即チ昨日國有林野法案又國有森林下戻法案ハ、本院ヲ通過シ致シマシタ、國有林野法案ハ如何ナルモノデアルト申セバ、即チ全國國有ニ屬スル森林七百餘萬町歩ゴザイマス、斯ノ如キ宏大ナルモノデアルテ、其中國土保安上必要ナルモノハ之ヲ保存シ、不必要ナルモノハ之ヲ拂下デ、又其拂下グタ所ノ金ヲ以テ森林經營ノ事業ニ充テルト云フノデアリマシテ、即チ一方ニ於キマシテハ、植林ノ事業ヲ道ルト云フコトガアリ、又森林經營上必要ナルモノハ、又森林ヲ買上ゲルコト云フコトガアルノデゴザイマス、即チ此コトタルヤ明治三十二年ヨリ四十七年ニ亙ル、即チ十六年ノ星宿ヲ費ヤシ、又其費ス所ノ金額ハ二千三百餘萬圓ノ金額デアルノデゴザイマス、實ニ此森林ノ制度ノ改正ニ至リマシタハ、今般ノコトタルヤ實ニ大事業デアルノデゴザイマス、元來此國有ノ森林大キニ過ギテ、其整理

上困難ナルヨリ、或ハ盜伐火災等ハ、年々免レザル次第デゴザイマス、因ッテ之ガ整理ヲ爲シテ、即チ必要ナルモノハ之ヲ保存シ、不必要ナルモノハ之ヲ拂下デ、サウシテ森林植林ナリ整理ナリヲシテ、即チ森林經營ノコトノ策ヲ講ズルハ、最モ其宜シキ次第ト考ヘル次第デゴザイマス、併ナガラ又一方ニ於キマシテ、此人民ノ權利ニ屬スル所ノモノト云フモノハ、固ヨリ是ハ下戻法案ニ依リテ大計ニ屬スルモノデアル、又即チ此森林ノ經營ガ一步ヲ誤リマスレバ、即チ却テ國家百年ノ大害ヲ醸スノデアリマス、即チ此森林ノコトタルヤ、最モ治水ノ關係ガアルノデアリマス、即チ水源涵養ノ森林ヲ伐シ、其タメニ水害ヲ醸シ、即チ年々水害ヲ醸ス金額ニ至ツテハ、實ニ四千萬ノ多キニ達スル次第デゴザイマス、之ガタメニ地方議會ニ於テハ、金ヲ支出シ又國庫ニ補助ヲ仰グト云フヤウナ次第デゴザイマス、即チ此森林經營ノコトハ、斯ノ如ク治水ト大關係ガアルノ關係ガアルノデアリマス、然ルニ開ク所ニ依レバ、是マデ此森林ノ經營等ノコトニ附キマシテハ、ドウモ各省割據シテ、即チ農商務省ハ動モスレバ內務省ト衝突スルコト、十分熟議ヲ遂ゲナイトカ、又ハ大藏省ト衝突スルコト、各省兎角割據ノ弊ガアルト云フコトヲ是マデ開イテ居ル次第デゴザイマス、斯ノ如ク森林ノコトタルヤ、事農商務省ニ屬スルト雖モ、其影響スル所實ニ重大デアリマス、故ニ之ヲ各省割據ニ任ズルト云フヤウナコトハ、甚ダ國家ノ大計ニ害ガアルト信ズルノデゴザイマス、且ツ又一方ニ於キマシテハ、此森林ノ拂下又ハ下戻ト云フヤウナコトニ至リマシテモ、是マデ非難攻撃ノ聲ヲ免レザルコトハ、諸君ノ御承知ノコト、存シマスル次第デゴザイマス、因テ即チ此森林經營ノコト、森林即チ處分ノコト、是等ノコトニ附キマシテハ、最モ慎重ニ慎重ヲ要サナケレバナラヌ、吾々代議士トシテ唯此國有林野法案、又一方ニ於テ下戻法案ヲ議決シ、若シモ國家ノ有ニスル山林ノ拂下ヲ希望シ、又一方ニ於テハ、何デモ下戻ヲ希望スルト云フヤウナル、若シ無責任ナルコトガ起ツテ、此山林ヲ若シモ赤裸ニスルト云フヤウナ大害ガ起ツタナラバ、如何デゴザイマス、此衆議院ニ於キマシテ此二法案ヲ議スルニ於テハ、又是ニ附イテハ、苟モ國家ノ觀念、即チ國家ノ觀念ヲ以テ、之ガ監督ニ於テハ、前辯士中村君ハ、是マデ斯ノ如キ調査會ヲ設ケラレ、即チ鐵道會ナリ、或ハ法典ノ問題ナリ、其他段々水產會ナリ、サウ云フ會ハ設ケラレタケレドモ、其效能ト云フモノハ、少イト云フ所ノ御議論デアリマスガ、成ル程是マデ十分其效ヲ舉ゲタコトハナイカモ知レマセヌ、併ナガラ適當ノ人物ヲ得タナラバ、決シテサウ云フ弊害ト云フモノハナイト信ズルノデアリマス、然ラバ中村君ノ言ハレル通ニシテ、サウ云フ害ガアルト申シテ、即チ唯一個人ノ農商務大臣ニ任シテ、少モ弊害ガナイカ、是マデ種々ナル弊害ヲ、醜聞ヲ耳ニスルデハアリマセヌカ、一個人ニ任ズルノハ弊害ガナイ、唯政府ノ役人ニ任ズルノハ少モ弊害ガナイ、議員ガ監督トシテ其間ニ加レバ、弊害ガアルト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ナイノデアリマス、吾々ハ寧ロ之ヲ少數者ニ任セテ弊害ガアルヨリハ、勿論多數者ニ於テ慎重ニ審議討論シテ、サウシテスル方ガ、幾ラ公平ニナリ、即チ慎重ニ會ヲ開イテ、ソレニ調査サセルコトガ、必要ダト云ヘバ、是ハ少シク極端論ニ致ルカモ知レマセヌガ、衆議院ト云フモノハ、三百人モ集ツテ居ルケレドモ、兎角

弊害ガアル、斯ノ如キ議會ハ止メテ、寧ロ專制政治寡人政治デアルガ宜シイ
ト云フヲ論ニハ、或ハナルカモ知レナイト私ハ思フデアリマス、因テ
私ハ即チ昨日彼ノ二議案ヲ通過シタ以上ハ、即チ此森林調査會ヲ設ケテ、即
チ此森林ノコトニ直接ノ關係アル所ノ諸役所ノ即チ官吏、又ハ之ニ經驗學識
ノアル所ノ即チ朝野ノ人士ヲ始メ、即チ此森林調査會ヲ組織スルガ、最モ國
家ノタメ必要ト信ズル次第デゴザイマス、願クハ滿場一致ヲ以テ可決アラン
コトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス

○鳩山和夫君(二百七十七番) 御採決前ニ一言……私ハ中村君ノ說ニ贊成デ
アリマス、即チ本案ニ反對デアリマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ採決ヲ致シマス、本案ニ同意ノ諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

(多數)「少數」ノ者交々起ル

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス

○杉田定一君(二百九十九番) 異議ヲ申立テマス
(拍手起ル)

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアリマスレバ、氏名點呼ヲ致シマス
(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガナイト認メマス
(贊成ガアル)ト呼ビ又「ナイ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 此際報告ヲ致シマス
(寺田書記官朗讀)

神輿知常君早川龍介君山内吉郎兵衛君ヨリ監獄教誨師ニ關スル建議案ヲ提
出セラレタリ

特別委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

取引所法中改正法律案
委員長 齋藤 卯八君 理事 中 辰之助君

特別委員ヲ指名スルコト左ノ如シ
葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案委員

片岡 久一郎君 藤 金 作君 鈴木 文三郎君
松岡 長 康君 橋 本 易君 秋山 元藏君

根 本 正君 小 田 爲 綱君 中 村 榮 助君
北海道拓殖銀行法案委員

阿部 興人君 加藤 政之助君 三 輪 潤太郎君
德差 藤兵衛君 早川 龍介君 杉田 定一君

重野 謙次郎君 齋藤 卯八君 恆松 隆慶君
○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第十四、府縣農事試驗場國庫補助法案貴族
院回付

第十四 府縣農事試驗場國庫補助法案(衆議院提出貴族院回付)

○恆松隆慶君(九十七番) 是ニハ段々數字ノ貴族院デ修正モゴザイマスルガ
要スル所ハ第八條デ、明治三十二年四月一日ヨリ施行スルト、本院デ致シタ
モノヲ、之ヲ明治三十三年ト、斯ウナッタノデアアル、是ハ貴族院ノ委員會デ

ハ、三十二年說ガ隨分アッタノデアアルケレドモ、如何セン是ハ農商務省ガ腰
ガ弱イカラシテ、終ニ斯ウ云フコトニナッタノデアアラウト思ヒマス、併ナガ
ラ此場合デ又固ク前議ヲ執リマシタ所デ、又協議會ト云フコトニナリマスカ
ラ、是ハ已ムヲ得ズ三十二年ト云フコトニ協賛ヲ與ヘネバナルマイト思ヒマ
ス、ドウカサウ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 貴族院ノ修正通御異議アリマセヌカ
(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、貴族院ノ修正通決シマス、議事日
程ノ第十五、斗南藩士家祿給與法案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十五 斗南藩士家祿給與法案(鯨島相政君外四名 第一讀會 提出)

第一條 斗南藩士家祿給與法案

第一條 明治二年己巳十一月斗南藩創立ノ後其ノ藩ノ籍ニ入テ家祿ヲ享受
セサル者又ハ其ノ家名承繼人ハ一戸四人扶持ノ家祿ト定メ明治九年太政
官第百八號布告金祿公債證書發行條例第一條永世祿ノ率ニ從ヒ金祿公債
證書ヲ以テ給與ス
第二條 前條ノ給與ヲ受ムト欲スル者ハ藩籍及其ノ後ノ戶籍ヲ明證シ本法
施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ大藏大臣ニ出願スヘシ
第三條 本法ニ規定ナキ條項ハ明治三十年法律第五十號ノ規定ヲ準用ス
(鯨島相政君演壇ニ登ル)

○鯨島相政君(二百二十九番) 極簡短ニ本案ノ說明ヲ致シマス、本案ノ理由
ハ大抵理由書ニ記載シテアリマス通、コトデゴザイマスルガ此理由書ニ記
載シテナイ二三ノ事柄ニ附イテ、說明ヲ致シテ置キマス、御承知ノ如ク舊斗
南藩ト申シマスルハ、即チ會津藩ノコトデゴザイマシテ、彼ノ會津藩ハ王
政維新ノ際即チ戊辰ノ役ニ於テ錦旗ニ發砲致シ、王帥ニ抵抗シタ、如之ナラ
ズ非常ニ頑固ナル抵抗ヲ爲シテ、伏見ノ戰ヨリ數百里ヲ隔テタマ度若松城ノ
落城マデ頑固ナル抵抗ヲ爲シタノデアラデ、一向其外藩ノ如ク容易ニ歸順ノ道
モ取ラズ、降服モ致サナイト云フヤウナ譯デアリマシテ、終ニ時ノ藩主
松平容保君ハ版籍ヲ削ラレ、二十八萬石ノ知行マデ沒收セラレタノデア
リマス、其時分ニ主從共ニ一同謹慎ヲ申付ケラレテアッタデゴザイマスル
ガ、明治二年ニ至リマシテ、右容保君ノ嫡子デ慶三郎ト云フ今子爵ノ松平容
大ト云フ人デアリマスルガ、此人ニ松平家ヲ相續サセテ、三萬石ノ地行ヲ授ケ
テ斗南藩ト云フモノヲ新ニ興サセタト云フコトニナッタ居ルノデアアル、其斗南
藩ト云フモノヲ興シマスルト同時ニ、先キノ錦旗ニ抵抗致シマシタル所ノ罪
ト云フモノハ、總テ消滅致シテ居ルノデアアル、矢張他ノ國事犯杯ト違ヒマシ
テ、除族ト云フ處分モナク、唯一時謹慎ヲ命ゼラレテ居タト云フダケノコト
デアッタ、此明治二年ニ其謹慎ヲ釋カレテ斗南藩ト云フモノヲ興スト同時ニ、
無罪潔白ナ人種ニ皆ナッタ居ルノデアアル、而シテ舊斗南藩主ノ松平容大君ハ、
多少計算ノ間違ハアルト云フコトデゴザイマスルガ、相當ノ金祿公債證書ヲ
下付ケラレテ居リマス、ソレカラ爵位令ノ出マシタ、相當ノ金祿公債證書ヲ
授ケラレテ居ルノデアリマス、然ルニ家老以下ノ士卒ト云フモノハ、一人ト
シテ公債證書ヲ貰ッタモノガナイノデアアル(早川龍介君憫然ト呼フ)唯斗南
藩ト云フモノガ起リマシタ時分ニ、其藩主ガ平均ニ元一万石取ッテ居ッタ人

モ、千石取ッテ居ッタ人モ、百石取ッテ居ッタ人モ、皆平等ニ平均ニ四人扶持ト云フ扶持ヲ與ヘテアツタ、是ガ即チ最後ノ斗南藩ノ制度ニナツテ居ルノデアリマスガ、此四人扶持ト云フモノハ、石ニ積リマスレバ、僅カニ七石二斗ト云フモノニナル、一万石取ッテ居ッタ人モ、矢張七石二斗、即チ四人扶持ト云フコトニナツタ、是ハ已ムヲ得ヌノデアリマス、外ニ據ルベキ標準ガゴザイマセヌ故ニ、即チ四人扶持ト云フコトヲ石ニ直シテ、是ニ對スル所ノ公債證書ヲ下付スルヤウニト云フノ即チ建議案デアアルノデアアル、祖宗三千年以來世界萬國ニ冠絶致シテ居ルト云フ一視同仁ト云フ此我國ノ國粹、此國粹ヲ保持シテ居ルト云フコトハ、誠ニ忍ビナイ所ノデアアルト考ヘル故ニ、日本ノ北極北海道ニ近イ所ノ斗南藩ノコトヲ、臺灣ニ近イ所ノ私が提出者ノ一人トナツテ述べマシタト云フモノ、詰リ之ヲ默視スルニ忍ビナイト云フ情カラ起ツタノデアアル、比較的ニ滿場諸君ハ私ヨリモ斗南藩ノ方ニハ近イ方ノ側デアリマスカラ、滿場一致ヲ以テ委員付託ニナランコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ委員付託ガ宜シウゴザイマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトヲ勸議ヲ出シマス

(政府委員大藏書記官永濱盛三君演壇ニ登ル)

○政府委員(永濱盛三君) 鯨島君外四名ヨリ御提出ニナリマシタル、斗南藩士族家祿給與法案ニ附キマシテ、御參考ノタメニ政府ノ考ヲ申述ベマス、此斗南藩主ハ、本來祿ヲ持ッテ居ナカッタノデゴザイマス、元々祿ヲ持ッテ居リマセナカッタモノニ向ッテ、今日ニナリマシテ新ニ祿ヲ與ヘヤウト云フコトハ、最モ謂レナイコトデゴザイマスカラ、本官ハ本案ヲ否決アランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 委員付託ノ勸議ガ出マシタガ、委員付託ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ヲレデハ議長ガ、九名ノ特別委員ヲ指名スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○工藤行幹君(百二十五番) 此委員付託ハ宜シウゴザイマスガ、最早議會モ切迫シテ居ルコトデアリマスカラシテ、ドウゾ委員ニ付託スルニ日ヲ限ッテ、早ク審查終了シテ、報告セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) ヲレデハ九名ノ特別委員ヲ指名スルコトニ致シマス

議事日程ノ第十六、配當祿處分法案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十六

配當祿處分法案(松島康作君外二名提出)

第一讀會

第一條 明治三十三年十二月太政官布告ニ依リ寺社領上知ノ當時各社領朱黑印地並ニ除地收領中ヨリ配當祿ヲ受ケタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治十年三月太政官第三十二號ノ布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者ハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ本人又ハ其ノ家名承繼人ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治十年三月太政官第三十二號布告ノ率ニ據リテ換算シ其ノ元金額ヲ秩祿整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但シ舊領主ノ寄附シタル社領收領中ヨリ配當祿ヲ受ケタル者及朱黑印地除地並ニ舊領主ヨリ寄附シタル寺領收領中ヨリ配當祿ヲ受ケタル者ニシテ給與ヲ得サル者ハ本條ニ據リテ之ヲ給與ス

第二條 第一條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太政官第三百十八號布告ニ據リ取調ヘタル既定ノ石代相場ニ據ル

第三條 第一條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ其ノ理由及證據ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ヘシ

但シ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ願出テサル時ハ本法ノ給與ヲ受クルコトヲ得ス

附則

第四條 此ノ法律ニ牴觸スル法律命令ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ失フモノトス

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ此儘ツツクリ前ノ委員ニ付託シタ方が置カラウト思ヒマス、一方ヲ付託シテ、一方ヲ付託セヌト云フノハ、イケマセヌカラ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是ハ前ノ委員ニ付託シテ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通ニ致シマス、次ハ議事日程ノ第十七、私設鐵道條例中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十七

私設鐵道條例中改正法律案(田口卯吉君外三十三名提出)

第一讀會

明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例中左ノ通改正ス

第二十九條第一項中「下等旅客運賃額ハ一哩ニ付金一錢五厘ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ヌ又其範圍内ニ於テ」ヲ削リ同條第二項第三項ヲ左ノ如ク改ム

三等旅客運賃額ハ一哩ニ付金一錢五厘以下ノ範圍ヲ以テ之ヲ定メ各驛停止ノ列車ハ少クトモ一日上下各一回運轉スヘシ

會社ニ於テ引續キ三箇年以上上下各一回運轉スヘシ

於テハ遞信大臣ハ特ニ其會社ニ命シ運賃額ヲ低減セシムルコトヲ得

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(百四番) 諸君、本案提出ノ理由ヲ述べマス前ニ、此文字ノ誤ヲ訂シテ置キマス「三等旅客運賃額ハ」アリマス、其「ハ」ハナインノデゴザイマス、ツレデ三等旅客運賃額ハ「」ヲ抜イテ、一里ニ附キ一錢五厘以下ノ範圍ヲ以テ之ヲ定メ」ト云フ四字ガ抜ケマス「各線停止列車ハ」ト云フノハ「ヲ」デゴザイマス「少クトモ一日上下各一回運轉スヘシ」以上申上ダマシタ通、斯ウ云フノデゴザイマスカラ、左様御訂正ヲ願ヒマス、本案提出ノ理由ハ、誠ニ簡單ナモノデゴザイマスカラ、詳シク申上グル必要ハナカラウト思ヒマスガ、詰リ今後私設鐵道ヲ隆盛ニシテ、山間僻地等ニマデモ普ク敷カシムルト云フコトニ致シマスルニハ、ドウシテモ此改正ヲ要スルコト、信シマスル、是ハ多數ノ贊成者モアリマスルコトデゴザイマスガ、若シ御異議ガナケレバ、即決ヲ願ヒタイ位ノ考デゴザイマスガ、若シ(委員付託)ト呼フ者アリ)委員付託ガ必要デアレバ……

○恒松隆慶君(九十七番) 此案ハ鐵道私設法案ノ改正案委員ガ設ケテゴザイマス、其方ニ併セテ之ヲ調査セシメタイノデアリマス、成ルベク斯ウ云フ案ハ、早ク報告ガイケマセヌカラ、併テ速ニ報告ニナルヤウニ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君カラ、此法案ハ鐵道敷設法案ノ委員ニ付託シタイト云フデアリマスガ、御異議アリマセヌカ

(異議ナシニ呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通ニ致シマス、次ニ議事日程ノ第十八、北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案

第十八 北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案

○恒松隆慶君(九十七番) 此建議案ハ、吾ガ先キニ提出致シタノデゴザイマスガ、チヨット其際ニ政府カラ、急ニ其如キ法案ヲ出スト云フコトデゴザイマシタ、如何ニモ出サレテ、貴族院ハ議シテ、本院ニ同タト云フコトデゴザイマスカラ、之ヲ決議シナクテモ、效力ガアツタ建議案デゴザイマスカラ、寢メテヤッテ之ヲ撤回スルノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 唯今提出者ヨリ撤回ト云フコトデゴザイマスカラ、是ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシニ呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、提出者ノ申ス通撤回スルコト、致シマス、次ハ議事日程ノ第十九、巴里萬國博覽會ハ技術者並ニ實業家派遣ノ建議案、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第十九 巴里萬國博覽會ハ技術者並ニ實業家派遣ノ建議案

(雨森菊太郎君外六名提出)

我國ハ世界強國ノ班ニ列スルニ至ルモ富國強兵ノ基礎タル我國工業ノ狀態ニ就テハ甚タ寒心スヘキモノアリ當局者ハ工業並ニ其ノ他實業獎勵ノ爲明治三十三年佛國巴里ニ開設スル萬國博覽會ヘ工業者並ニ其ノ他各營業者數十名及技師數名ヲ派遣シ各國ノ出品ニ就キ觀察研究精細報告ヲナサシメ一ハ以テ施政上ノ參考ニ供シ一ハ以テ實業者ノ耳目ヲ開發刺激セシムコトヲ希望ス

右建議ス

(早川龍介君演壇ニ登ル)

○早川龍介君(二十七番) 是ハ極短クヤリマス、チヨット併シ是ハ即決ニ願ヒタイノデアリマスカラ、是ニ附イテチヨット述べマス、是ハ詰リ此日本ノ眞ノ實業家ヲ成ルベク其工業杯ニ實際從事シテ居リマス者ヲ此博覽會ノ實際ヲ見セシメタナラバ、百聞一見ニ若カズト申シマシテ、餘程此事實上ニ日本ノ工業其他商業等ニ利益アル土產ヲ持ッテ歸ルダラウト云フ考、ソレデ往復ノ旅費其他總テ一人前千圓ト云フ計算デゴザイマス、調査ノ見込ハ、先ヅ七萬圓程ノ金デアリマスガ、併シ是ハ年々ノコトデゴザイマスルデ、又次ノ年度ニ於キマシテ、政府ガ都合ノ宜シイダケ、見込ハ五十八人程ト云フコトニ見込デゴザイマス、三十八人デモ二十人デモ、詰リ豫算ノ都合ニ依ツテ、成アリマス、ドウゾ是ハ即決ニ願ヒタイ

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシニ呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案通決シマス、次ハ議事日程ノ第二十、小學校教育費國庫補助法案、貴族院回付

第二十 小學校教育費國庫補助法案(衆議院提出貴族院回付)

○工藤行幹君(百二十五番) 是ハ貴族院ノ修正デゴザイマスルガ、大體此修正ト云フモノハ、補助金ノ配付ノ目安ガ、學齡兒童ノミトアツタノヲ、其下ヘ就學兒童ト云フモノモ加ヘタノデ、學齡兒童ト就學兒童ト云フモノニヤルト云フコトデアリマスカラ、直チニ是モ可決シテ、貴族院ノ通セラレンコトヲ希望シマス

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) チヨット御話ヲ致シタウゴザイマスガ、勿論本案ノ事柄ニ附キマシテ、彼是申スノデアリマセヌガ、追テ財産上ノ困難ナル事情ヲ一應申上ゲテ、宜シク御考慮ヲ願ハナケレバナリマセヌガ、御承知ノ通我國ノ財政ハ、二十九年度以後段々此危險ナ境域ニ遭遇致シマシテ甚ダ諸君ト共ニ吾々モ心痛致シテ居リマシタ、所ガ、本年ハ仕合せニ本議院ノ多數、貴族院ノ多數ノ御協賛ヲ得マシテ、今ヤ將ニ其緒ニ就カント致シテ居リマスルガ、甚ダ其勢ニ於テハ、政府ハ諸君ニ向ッテ感謝スル譯デアリマス、併ナガラ今日ハ、御承知ノ通ニ未ダ填補案モ十分ニ極リマセヌシ、ソレカラ豫期シマセヌ所ノ費用ト云フモノモ、大分嵩ンデ參リマシタノデアリマスルシ、ソレカラ今年度即チ三十一年度ノ此水害費ト云フモノモ、四百萬圓バカリノモノヲ請求致シテ置キマシタガ、是杯モ御承知ノ通ニ財源ガアリマセヌカラシテ、今度其借金ヲ以テ支辨シナクンバナラヌト云フ困難ニ陥リマシテ、サウシテ是ハ三十三年度ニ掛ケテ、ドウシテモ償還ヲ致サナクンバナリマセヌデアリマス、ソレカラ又此借金ノ今ノ繰替ト云フモノガ、此國債ノ外ニ御承知ノ通ニ、二千二百萬圓バカリモアリマスルガ、是モドウシテモ三十五年度六年度ニ掛ケテ償還ヲ致シマセヌト、三十七年カラニハ、御承知ノ通軍艦補足費ト云フノ五百萬圓バカリノモノガアリマスシ、基金カラノ補助ハ、漸ク百五十萬圓バカリノモノデアリマスカラ、彼是前ニ計畫致シマシタトキカラシテ、此地租ヲ以テ九百萬圓バカリ減シマシテ、ソレヲ補填致シマシタメニ、五百萬圓リノ増加ニナツテ、遂ニ四百萬圓バカリノ空隙ヲ生ジマシタ譯デアリマシテ、此案ハ、事柄ハ結構ナ案デアリマスルガ、ソレニ附イテ不贊成ト云フヤウナコトハ、勿論ナイノデアリマスケレドモ、費用ノ點ニ至リマシテハ、三十三年ヨリ之ヲ行フト云フコトニ至リマスルト、三十三年度ハ御承知ノ通ニ、ドウシテモ八十萬圓バカリノモノガ要シマス、ソレカラ段々進ンデ參リマス、三四百萬ノ巨額ニ達スルト云フコトニナリマスカラ、財政ノ點ニ於テハ、誠ニ重大ナ案デアリマスカラ、更ニドウゾ十分ノ御考慮ヲ費サレテ、サウシテ相當ノ御決議アラントヲ希望致シマス

○工藤行幹君(百二十五番) 是ハ唯今政府委員ガ言フ所ノ此案ニハ、少モ關係ノナイコト、存ジマス、ナゼナレバ此案ニハ、唯貴族院ノ修正ヲ當場ニ於テ論ズルノデ、本院ハ既ニ通過シテアルデアリマス、此事ノ最前政府委員ガ言ハバ免ニ角、此修正ニ對シテ議シテ居ル際ニ、之ヲ否決セヨト云フ御演說ニナルノハ、其當ヲ得ヌ、此場合ニ於テ不當ト認メマスカラ、本案ニハ飽

クマデ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

○根本正君(二百番) チヨット申シマス、唯今政府委員ノ御説ガアリマシタガ、是ハ矢張貴族院ニ於テモ、其通ノコトヲ言ハレマシタケレドモ、貴族院ニ於テハ、一人ノ反對モナク、満場一致ヲ可決致シマシタモノデ、政府ハ斯ノ如キコトヲ心配致シマスケレドモ、其同シ大藏省ハ議會ノ協賛ヲモ經ズシテ、百八十万圓モ京仁鐵道ノモノヘ出シテ居ル位ナコトデ、其外種々ノ方ヘ金ヲ出シテ居リナガラ、國家重大ナル此問題ノ如キニ附イテハ、色々ナコトヲ申シテ心配ト言フガ、是カラ外ノコトニハ、ゾロ／＼金ヲ出スト云フコトヲ承諾シテ、此問題ニ附イテ彼是言フノハ、道理ニ悖ル譯デアリマス、ソレ故ニ貴族院デモ満場一致ヲ以テ可決致シタ譯デアリマスカラ、矢張當院ニ於テモ貴族院通賛成アラシコトヲ願ヒマス

(討論終結)ト呼フ者アリ

(根本正君 贊成々々)ト連呼ス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 勿論心配致スカラ、非常ナ心配ヲ致シマス

カラ、斯ノ如キコトヲ申スノデアリマス、根本君ノ御説デアリマスガ、決シテ京仁鐵道ノ如キハ、唯一省ノ考ダケデ、忤ニシタノデアリマセヌカラシテ、其コトハ廟議ヲ竭シタ上デアリマスカラ、左様御心得ヲ願ヒマス

(根本正君 宜シイ)ト呼フ

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、貴族院ノ修正通御異議アリマセヌカ

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス、議事日程ノ第二十一、第五回内國勸業博覽會中水産部ヲ萬國博覽會トナスノ建議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第二十一

第五回内國勸業博覽會中水産部ヲ萬國博覽會トナスノ建議案

第五回内國勸業博覽會中水産部ヲ萬國博覽會トナスノ建議案

我帝國ノ水産ニ富饒ナルコトハ歐米各國ノ羨望スル所ナリ然ルニ本邦水産事業ノ發達ハ未ダ満足スヘキ域ニ達セス水産物ノ販路モ普ク開始セラレサルハ甚遺憾ナリトス故ニ第五回内國勸業博覽會ヲ開設スル際ニハ該會中水産部ハ特ニ汎ク外國ノ出品ヲ求メテ一部萬國博覽會ノ性質ヲ具ヘシムルハ我海國ノ富源ヲ開發スルニ最モ緊要ナリト信ス依テ茲ニ之ヲ建議ス

(板松隆慶君演壇ニ登ル)

○板松隆慶君(九十七番) 諸君、此建議ヲ出シマシタノハ、我國ノ形勢カラ考ヘテ見マシテモ、大日本中殆ド海ニ接シナイ所ノ國ハナイト云フヤウナ有様デアリマシテ、最モ水産ニ關係ナル國デアリマス、然ルニ是マデ諸外國ニ於テ、水産ノ有様ヲ聞知セラレナカッタガ、近年漸ク其聲ガ高マツタノデアリマス、然ルニ第五回内國勸業博覽會ノ際ニ水産部ヲ萬國博覽會ト爲シタコトナラバ、他ノ國ヨリモ種々出品ヲ致シテ參リマセウシ、個人ナリ國トシテナリ、色々望ミテ居リマスノデアリマス、既ニ昨年モ諾威等ニ開カレマシタトキニ、我國ノ出品ハ、餘程賞讃ヲ得タ有様デアリマス、デ、ドウカ是ハ此目的ヲ達シタト思ヒマス、ケレドモ此問題モ重大問題デゴザリマス、デ、即決ト云フ譯ニモ往キマス、イト思ヒマスカラ、宜シク委員ヲ御選ミ下

スデ、御調査下サレシコトヲ希望致シマス(贊成々々)ト呼フ者アリ)マダコニ調査シタモノガアリマスガ、是ハ速記録ニ載セテ貰フコトニ致シマス(參照)

一 漁具ノ比較 本邦ノ水産事業ガ是ニ依テ得ヘキ利益ノ一二ヲ舉グレバ左ノ如シ

諸外國ヨリ出品セル諸多ノ漁具ヲ一堂ニ集メ之ヲ調査シテ其長ヲ學フハ實ニ博覽會ヲ措テ他ニ方法アルヲ見ス且此ノ如ク能ク其說明使用法等詳カニスルハ外ニ求ムヘキノ途ナシ現ニ諾威ニ於テモ開會中順次ニ營業者ヲシテ之ヲ觀察セシメ漁業監督官ノ如キ人ヲシテ之カ說明ヲナサシメタル結果他ノ長所ヲ取リテ之ヲ實施セシムルノ計畫ヲ爲サシムルニ至レリト云フ

一 製品ノ比較

之レ又同上ノ理由ニ依リ其利益少ナカラス特ニ漁具ニ比スレハ書類等ニ就テ見聞スル能ハサルノ利益ヲ得ヘシ假令ハ罐詰ノ種類ヲ蒐メテ其體裁風味ヲ習得シ乾鹽燻魚類ノ各種ヲ類集シテ其方法ヲ知ルカ如キ一枚舉ニ違アラサルノ利アリ本邦製品ノ改良ヲ謀ルハ實ニ他ニアル事ナシ

一 製作機械器具若クハ製造用品ノ實地研究

特ニ此項ニ於テ如何ナル方法ヲ用フルモ本邦ニ於テ調査研究ノ方法アルナシト雖モ博覽會ニ於テハ各國ヨリ前述廣告商賣ノ目的ヲ以テ出陳スルモノハ總テ之ヲ實地ニ使用シテ公衆ニ示スカ故ニ其所謂秘密ト稱スルモノモ能ク之ヲ知ルコトヲ得ルカ故ニ實際其會社ニ就テモ知ル能ハサルモノモ尙善ク之ヲ研究スルコトヲ得ルノ利アリ

此點ハ本邦斯業ノ最モ急要トスル所ニシテ斯業振興ノ成否ニ關スルコト重大ナリ此關係ハ養殖事業ニ於テモ推理シ得ルモノトス

此外博覽會ニ附帶シテ萬國水産家ノ集合スルヲ期トシ其高論卓説ヲ知ルノ方法ヲ施設シ本邦水産業ノ方針ヲ革新スルカ如キ最モ有用缺クヘカラサルノ機會トス現ニ諾威博覽會ニ際シ該地水産會カ發起ナリ萬國水産會議ナルモノヲ施設シ各外國斯業ノ有志者ニ檄シテ會員ヲ集メ其研究セル事項ヲ述ヘシメ又種々有益ノ事項ヲ討論シタリト云フ此等ニ依テ同國カ間接直接ニ得タル利益ハ決シテ尠ナラズト信ス

今諸博覽會萬國水産部ノ狀況ヲ概述シテ參考ニ供セン

本邦水産物ヲ他邦ニ普示スルノ利 從來本邦ノ魚類ハ如何ナル製造ヲ施シ如何ナル品質ヲ有スルヤハ未ダ他邦ノ廣ク知ラサル所ニシテ本邦ニ於テモ亦之カ輸出ノ新途ヲ發見スルニ汲汲タリシト雖モ親シク内外ノ營業者ガ相面接シテ其商賣ヲ研究シタルコトナク且ツ遠隔ノ地ニ在ッテ互ニ其狀況ヲ詳ニスル能ハサルカタメ今日ニ於テハ偶々輸出品アルモ徒ラニ居留外人ノタメニ利益ヲ占有セラル、ノ憾アルハ明カナリ更ニ進ンデ直輸ヲ回ラントスルモ前記ノ事情ニ依リ其見込ヲ立ツル能ワス然ルニ歐米其他ニ於テ需用スヘキ水産物ノ種類ハ敢テ尠ナラス即チ魚油鰵鱈等ノ如キ最モ廣ク彼地ニ行ハル、モノニシテ其需用ハ供給ノ少ナキヲ嘆スルノ狀況ニ依リ故ニ若シ此博覽會ニ際シ各地ノ營業者カ實地實物ヲ見テ其嗜好スル方法ヲ親シク話説シ之ヲ營業者ニ示サハ新

ニ輸出ノ途ヲ開キ得ルモノ妙ナカラサルヘク特ニ魚油ノ如キハ本邦品ノ海外ニ知名ナル各產物ガ強敵視スルヲ以テ之ヲ知ルヘシ且ツ之カ直輸入ヲ謀ラントスルモノ多シト雖モ本邦ノ事情ヲ詳ニセサルカモ未タ其機運ニ至ラス本邦商人モ之ヲ切望スルモ同様に依テ價格數量ニ於テモ他ノ數コトヲ利益ハ斷斷セラル、ノ止ムナキナリ從テ其價格數量ニ於テモ他ノ數コトヲナス能ハス苟モ總テ直輸出ノ利アルヲ知ルモノハ此機ヲ於テ他ニ圖ルヘキノ途アルナシ

此外内地ノ產物ニ於テ外國ノ需用妙カラサルモノアルヘシ現ニ昨年諾威萬國水產博覽會ニ於テ本邦出品ノ好評ヲ博シ其結果直接販賣ノ申込ヲナシタルモノ魚油罐詰ノ如キニアリ特ニ後者ハ獨逸ニ其販賣ヲナスノ運ニ至リ緒糸ハ瑞典ニ代理店ヲ設クルコト、ナリ魚庖刀ハ諾威ノ家庭ニ賞用セラレテ續々注文アリ罐詰甲細工ハ全出品中ノ最良美術品ト稱揚セラレ獨逸ニ代理店ヲ舉ケタリト欲スル者アリ其相談中ニ在リ又蚊釣ノ歐洲品ヲ壓倒シテ好成績ヲ其販賣ヲ力メナハ意外ナル富源ヲ發見スルニ至ラン彼ノ諾威銷カ米國市場ニ於テ一樽四十弗以上ノ好況ヲ有シ人ノ知ラサルモノナキニ至レルモ其起因ヲ糾メレハ僅々十年前ニ於テ一樽ノ試賣ヲ爲シタルノ結果ニ外ナラスト云フ是ト同時ニ鍊ノ輸出モ亦盛況ヲ呈シ露國市場ノ需用ノ如キ莫大ナリト聞ク以上一二ノ實例ニ徴スルモ本邦水產品ヲ他邦ニ普知セシムルノ急務タルヤ多シヲ要セサルナリ

明治三十一年那威ベルゲン市萬國水產博覽會

各國出品人員及受賞數

諾威	出品人員	百八十七人	受賞數	六十三																																													
內	名譽賞	一	金獎	二																																													
內	感謝狀	一	銀牌	一																																													
內	金牌	四	割合二割六分強	一																																													
內	感謝狀	四	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																																										
內	金牌	四	內	名譽賞	一	金獎	二																																										
內	感謝狀	四	內	感謝狀	一	銀牌	一																																										
內	金牌	四	內	金牌	十六	割合二割六分強	一																																										
內	感謝狀	四	內	感謝狀	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																																							
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																																							
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																																							
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	割合二割六分強	一																																							
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																																				
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																																				
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																																				
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一																																				
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																																	
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																																	
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																																	
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	割合二割六分強	一																																	
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																														
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																														
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																														
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一																														
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																											
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																											
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																											
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	割合二割六分強	一																											
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																								
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																								
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																								
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一																								
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																					
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																					
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																					
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	割合二割六分強	一																					
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三																		
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	名譽賞	一	金獎	二																		
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	感謝狀	一	銀牌	一																		
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一																		
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三															
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二															
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一															
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三												
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二												
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一												
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三									
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二									
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一									
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三						
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二						
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一						
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	名譽賞	一	金獎	二			
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	割合二割六分強	一			
內	金牌	四	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	瑞典	出品人員	一百四十二	受賞數	六十三
內	感謝狀	四	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀	十六	內	金牌	十六	內	感謝狀																								